

幼の兒の教育

第 二 十 八 卷 第 八 九 號 第 八 九 號



東京女子高等師範學校內
日本幼稚園協會

帝國美術院會員
東京美術學校教授

岡田三郎助先生・丹羽禮介先生共著

尋找
家庭

應用略畫集

全一册 菊判洋綴
彩色畫八葉
作畫一千有餘
定價三圓八十錢
送料金十八錢

スケツチと
寫眞とを應
用して如實
に表現した
略畫の畫集

極めて頭腦の單純な兒童の繪畫教育には略畫が最も効果が多いのです。日常彼等の耳に觸れ、眼に映じた自然の風物も最も簡單明瞭に説明し、印象づけ、且つ表現せしむるには略畫に依るのが一番便宜です。本書は此目的に於て、先づ略畫の描法を極め、要領よく説明し、次に實例として國定教科書の各科に取材し、毛筆畫、ペン畫、單彩畫等各種の描法に於て、人體、風景、花鳥、獸魚等の略畫の作品千百餘を掲げ、其の作畫一々に付て曲線、直線の使用法を示し、猶且つ實物寫眞と寫生圖と略畫の三様の比較を如實に示す等、用意周到、懇切丁寧を極めた教育略畫集の寶庫であつて、指導書であります。初等學校教育家並各家庭の必備を希ひます。

岡田三郎助 共著
丹羽禮介

學校 家庭 圖畫描き方の基本と其の

菊判全一册
定價二圓五十錢
送料十八錢

作畫の第一階梯として最も必要な事は基本型の取扱方である。繪畫の基本型は、一、圓型、二、三角型、三、四角型の三種であつて、之等の配置、交錯に基いて諸種の物體が如何に簡單に描き出されるかを兒童に會得せしめれば作畫の興趣を喚起し、觀察力と創造力を助長し完全に圖畫教育の効果を擧げ得、初等教育圖畫擔任の先生並各家庭の御使用を希ふ。

帝國美術院會員
東京美術學校教授
岡田三郎助 共著
丹羽禮助

六學校 家庭 クレヨン畫集と其の描き方
菊判全一册 洋綴 一本の線より順序を経て畫に成る迄即ち素描ありて、上學校教育家庭に於て説明し、且つ製作法を述べ、
定價三圓八十錢
送料十八錢

帝國美術院會員
東京美術學校教授
岡田三郎助 共著
丹羽禮助

五學校 家庭 應用圖案畫集と其の描き方
菊判全一册 洋綴 本書は其應用の範圍頗る廣汎にて圖畫教育は、
定價三圓八十錢
送料十八錢

帝國美術院會員
東京美術學校教授
岡田三郎助 共著
丹羽禮助

新選習 手工學習指導
菊判一冊 入規範から脱して、自律的に自己發見的製作の
定價一圓八十錢
送料十八錢

發行所 東京市牛車町九區 文庫書店 電話 東京 三三三番 電話 東京 二二二番 電話 東京 一一一番



本日幼稚園協編編輯幼の教育

會長 助員

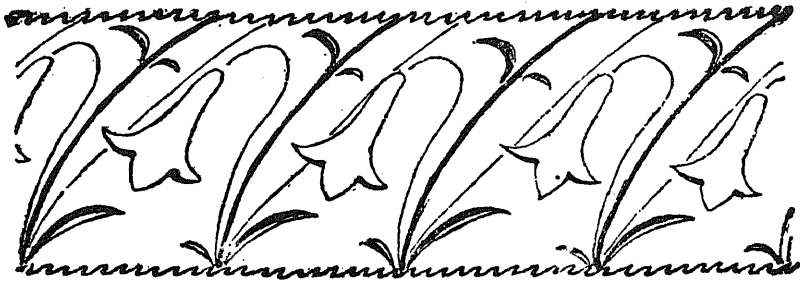
東京女子高等師範學校校長 吉岡郷甫
 東京女子高等師範學校教授 堀七藏

東京高師教授 醫學博士 乙谷秀雄	東京帝大醫科講師 醫學博士 太田孝之	東京高師教授 醫學博士 大瀨甚太郎	慶應大學教授 醫學博士 唐澤光德	東洋幼稚園長 醫學博士 岸邊福雄	早蕨幼稚園長 醫學博士 久留島武彦	東京高師教授 醫學博士 佐々木秀一	東京女子高師教授 文學博士 下田次郎	東京女子高師教授 文學博士 菅原教造	東京市教育局長 醫學博士 富士川游
東洋大學教授 東京府女子師範學校校長 高島平三郎	帝國教育會理事 瑞穂幼稚園長 土川五郎	東京音樂學校長 京都帝大教授 野上俊夫	東京女子高師教授 醫學博士 倉橋惣三	東京帝大教授 文學博士 松本亦太郎	奈良女子高師校長 醫學博士 榎山榮次	奈良女子師範附屬幼稚園主事 醫學博士 三田谷啓	東京帝大教授 文學博士 湯原元一	東京女子大學長 文學博士 安井哲子	東京女子高等師範學校校長 醫學博士 藤井利譽

文學博士 谷本富

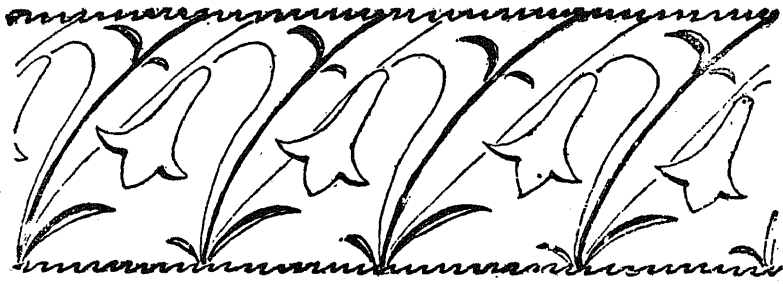
文學博士 藤五代策
 文學博士 福士末之助





兒 幼 卷八十二第

口繪 日本幼稚園協會總會 人形の家	堀 七 藏……………二頁
私の視たる米國の幼稚園教育……………	大塚 喜 一……………二二頁
幼兒期の情意教育についで(一)……………	三 浦 ひ ろ……………三二頁
子供の遊戯と表情……………	お話と劇と……………長 尾 豊……………三八頁
交通遊びについて(二)……………	大阪市立道仁幼稚園……………四二頁
幼兒の抽出検査(二)……………	京都市保育會研究部……………四九頁
童話 黄金の花……………	水谷 年 恵子……………五五頁
入道雲とボン太郎……………	同……………五六頁
くちなし……………	さ を り……………五九頁
保育作用の積極的方面……………	倉 橋 惣 三……………六二頁
九月及び十月の幼兒生活……………	ト 部 た み……………六九頁
暑さの午后……………	今治昭和幼稚園……………田 坂 雪……………七五頁
うす泥棒……………	金子彦二郎……………七七頁



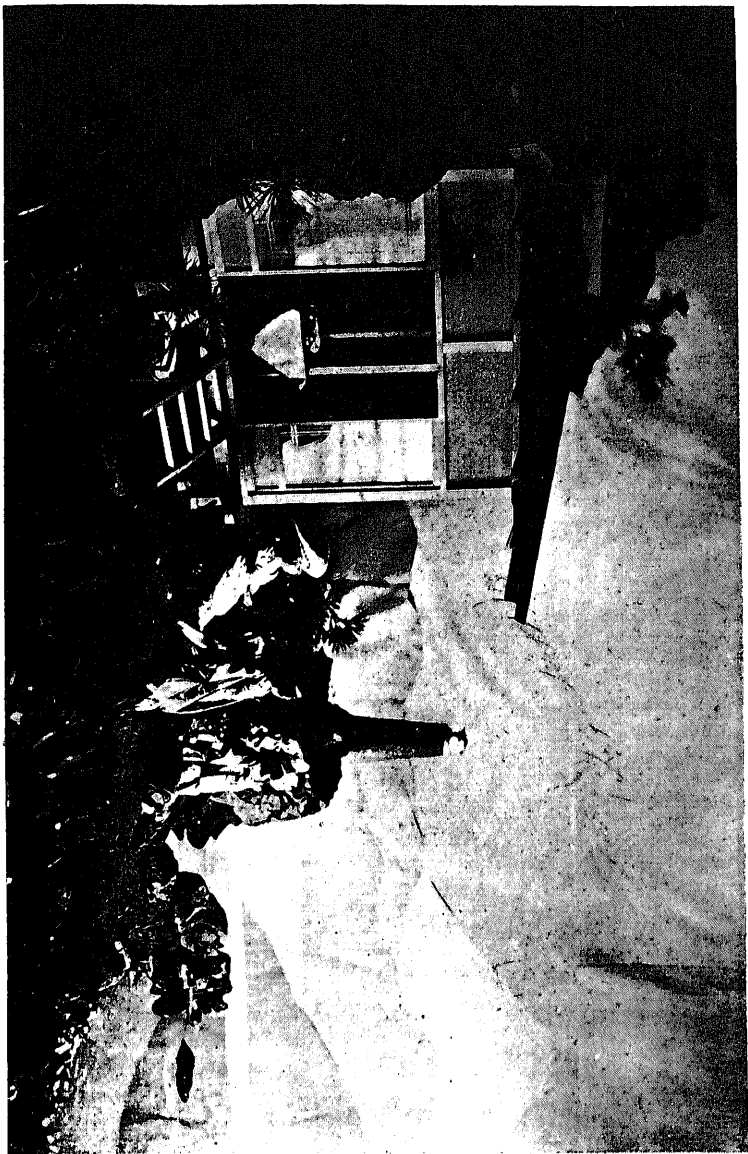
の 教 育 第 八 九 號

日本幼稚園協會總會……………	記	者	八五頁	
幼兒の仕舞について……………	久門	嘉祐	八六頁	
幼兒の書き方について……………	本郷區	第一幼稚園	九二頁	
我が園兒の心に映じた金魚……………	東京市番町小學校附屬幼稚園		九三頁	
一年の先生とお話しての感想……………	ト部	タミ	九七頁	
立體紙摺の世界と觀察の世界……………	静岡櫻幼稚園	林せゐ子	一〇三頁	
幼稚園に於ける自由遊びの地位……………	大塚	喜一	一〇四頁	
感想……………	高松玉藻幼稚園	推名	静枝	一〇六頁
同……………	石野	喜十郎	一〇七頁	
創立當時の唱歌……………	氏	原銀子	一〇八頁	
感想……………	膳	真規子	一〇八頁	
同……………	桑港金門學園	河合	長子	一一二頁
同……………	多田池袋幼稚園長		一一五頁	
同……………	總會出席者の一人		一一六頁	
文部省主催幼稚園に関する講習所感……………	齋	峯生	一一八頁	



日本幼稚園協會總會 壇上の二婦人は氏原・勝二先生

高崎第二幼稚園 人の形の家





號九〇八第 育 教 の 兒 幼 卷八十二第

月 九〇八 年 三 和 昭

- 一、教育で家庭教育位重要なものはありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。
- 一、家庭教育の短を補ひ幼児の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園教育であります。幼稚園教育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。
- 一、幼児の教育は本邦唯一の幼稚園教育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。
- 一、幼児の教育は幼児の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園教育の進歩發展を期する大抱負をもつて産れたもので有ります。

私の視たる米國の幼稚園教育

堀 七 藏

二

一、

既に述べたのでありますが歐米諸國の民族は主として游牧生活をしてゐたものであります。試みにヨーロッパの歴史を繙くと是等の民族が水草を追ふて牛馬と共に移動し、所謂民族の移動が盛に行はれたものであります。北から南に、東から西に、絶えず民族の移動が行はれてゐるのであります。北方の寒地にゐた慄悍なる民族ノルマン人はノルウェー、スウェーデン邊にゐたが數々南下してデンマークに移り、更に獨逸やフランスの海岸に出没したのであります。第五六世紀の頃サクス、アングル、ユートの三種族が英國で七王國を立てたのが今日の英國民族アングロサクソンであります。しかし八八四年頃ノルマン民族の一種デイン人が英國を侵したことがあり、英國人にはノルマン人の血が加つてゐるものがあります。蒙古人種の一種マチャル族は八九八年ドイツに侵入した事があり、テムチンは一二〇六年ヨーロッパに侵入したので今日でも蒙古人種がハンガリ地方に居住してゐます。スラブ(ロシア)民族でもチウトン(ドイツ)民族でも絶えず東方より壓迫せられて西に向つて移動しラテン民族は常に東より追詰

められるといふ有様であつたのでありませう。

コロンブスがアメリカを初めて発見したのが一四九二年であります。アメリカ植民はズット後のことでもあります。コロンブスは前後四回もアメリカに航海してゐますが新大陸であることを悟らず、アジアの一部と考へてゐたものであります。ところが一五一三年バルボア氏が初めて西に太平洋のあることを発見し、これより追々探検が行はれて終にアジャとは別の新大陸であることが分つたものだと申します。イタリー、フロレンスの人アメリゴ、ヴェヌブッチは數々新世界に航しその圖を製しその記事を表はしたのであります。ドイツ人マルチン、ワルツミュレルがこのヴェブッチを尊敬するの餘り、新地の圖に彼の名をとり、アメリカと記したのが起原となつてアメリカの名稱が一般に使用せられるに至つたものであります。

その後ヨーロッパ各國は争つて探検に従事し、従つて発見すれば従つて植民したものであります。しかし當時英佛は左程活潑に探検をしなかつたから得る所が少くあつたが、スペイン、ポルトガルの二國は卒先して探検し各所に植民したのであります。次いでオランダ、フランスもアメリカに多大の勢力を占め植民政策に甚だ熱心でありました。所が一七六三年バリの和議條約によつてイギリスはスペイン及びフランスより特に北アメリカに於て宏大なる領地を譲り受けましたから、これから英國人の移民が北アメリカに多く行はれた譯であります。しかし英國はフランスとの戦争によつて生ぜる財政困難を救ふ

ためアメリカの植民地に課税せんとした所、茲にはしなくも獨立戦争が起つたのであります。元來北米十三洲の植民はもと英國に於て宗教及び政治上の自由を妨げられることを忌みて移住したものでありますから、獨立の精神が盛であり英本國がその利益を壟斷することを悦ばず、終に一七七六年七月四日のフイデルフイヤに於ける獨立の宣言となり、七年の血戦を経て一七八三年獨立が認められて茲にアメリカ合衆國が建設せられたのであります。ワシントンはこの獨立戦争に於て主將となり第一回に大統領となつた人、アメリカ合衆國建國の元勳であります。これに次いでスペインの屬領にもメキシコ、ペルーアルゼンチン、チリー等が獨立して共和國となり、ブラジルもポルトガルに反きて帝國となりましたから御承知の如く一言にアメリカといつても南北アメリカ共に多くの獨立國があります。しかしアメリカとか米國といへばアメリカ合衆國をさすことは無論であり、私の視たアメリカは只アメリカ合衆國の中央地帯だけであります。

アメリカ合衆國は一八一二年の戦争により、また一八四六年メキシコとの戦争によつて著しく領土を擴張し、更に一八六一年より六年間にわたる南北戦争によつて統一せられて今日のアメリカ合衆國が出来たのであります。その後ハワイ王國を併合し一八九八年にスペインと戦つてフィリッピンを領有するに至つたのであります。

アメリカ合衆國の幼稚園教育を説明するに當りアメリカ合衆國の大勢を述べる必要があります。アメリカ合衆國が如何なる國か、どなたも大體御承知であります。その國情を明白にせぬと誤解を來す場合が甚だ多いのであります。今日アメリカ風の悪い所が眞似られ流行してゐるのはその根底にアメリカ合衆國を十分理解しないことが一原因をなしてゐると考へられます。

アメリカ合衆國は總面積七百八十萬平方料でわが日本帝國の總面積六十八萬平方料に比べてザツト十二倍あります。それで人口は一億五百七十萬。我が國の人口八千三百四十五萬よりも僅かに二千萬人多いだけであります。それですから我國は一平方料につき人口密度百二十二人・六分であります。アメリカ合衆國では僅かに一三人・六分しかありません。アメリカ合衆國は大國でありますから、四種の標準時があります。吾々日本人から見れば誠に驚くべきであります。ニューヨークから西に來ても、サンフランシスコから東に行つても、汽車の中で時刻が一時間とぶことが三回もあるから面白い位であります。何しろアメリカ合衆國は東と西とで大變經度に相違があります。試みにアメリカ合衆國の大都市の經度及び緯度人口を表示いたしませう。アメリカ合衆國の東から西に列擧いたしますが、これは我が日本からは反對に遠い所から近い所に及ぶ譯になりますから豫めその積りで考へて頂きます。

都會名

經度

緯度

人口(二十六年)

六

ボストン	西 七一度 三分	北 四二度 二一分	七八萬、〇
ニューヨーク	七三度 五八分	四〇度 四五分	五九二萬、〇
フィラデルフィヤ	七五度 九分	三九度 五七分	二〇〇萬、〇
ワシントン	七七度 四分	三八度 五五分	五三萬、〇
シカゴ	八七度 三六分	四一度 五〇分	三〇五萬、〇
セントルイス	九〇度 一二分	三八度 三八分	八三萬、〇
ロスアンゼルス	一一八度 一五分	三四度 二分	一三〇萬、〇
サンフランシスコ	一二二度 二五分	三七度 四八分	五六萬、〇

右の表でも分るやうにニューヨークは西經七十四度であるが、サンフランシスコは西經百二十二度でその差が四十八度もあります。經度十五度に對して一時間の時差を生ずる譯でありますから、アメリカ合衆國で四種の標準時を必要とする理が明白となりませう。それで西經七十五度を標準とする東部標準時と西經九十度を標準とする中央標準時と更に西經百五度を標準とするマウンテンタイムと西經百二十度を標準とする大平洋標準時とあります。ニューヨーク邊で使はれてゐる時刻がシカゴに來ると一時間おくれですし、更にグランドキャニオンなどでは二時間おくれ、サンフランシスコに來ると三時間お

くれ、ニューヨークとサンフランシスコでは標準時に三時間の時差があるのであります。

更に右の表を注意して見るとボストン、ニューヨーク、シカゴは北緯四十度以北にあります。が他は多く北緯三十七八度であります。我が國で青森が四十度四十九分、室蘭が四十二度十九分、札幌が四十三度四分、秋田が三十九度四十三分、山形が三十八度十五分、仙臺が三十八度十六分、福島が三十七度四十五分であるのに比べると大抵似寄つてゐます。従つてアメリカ合衆國の大都市は北緯四十度を中心とせる五度の線内にあるもので、わが北海道及び東北地方に比敵するのではありません。アメリカ合衆國はかく領土が廣く、しかも我が國のやうに山地が多く平野が少いのと異り、廣漠たる大平原であります。勿論砂漠や不毛の地も少くないがミスシッピー河流域などは肥沃な大平原でありますから牛馬豚緬羊などの放飼をなすには至極好適な國であります。ヨーロッパよりの游牧民族が發展するには申分のない地方であります。次に牧畜業の有様を統計の數字で示すことにいたします。参考にブラジル、オーストラリヤも附加いたします。

國名	年次	牛	馬	豚	緬羊
日本帝國(内地)	一九三三	一、四九九、三九	一、五九一、五九一	六六七、八〇〇	一四、九六〇
アメリカ合衆國	一九三四	六六、八〇一、〇〇〇	一八、二二三、〇〇〇	六五、五〇一、〇〇〇	三六、三六一、〇〇〇
ブラジル	一九二〇	三四、二七一、三四	五、二五三、六九九	一六、一六八、四九九	七、九三三、四三七

この表を注意するとアメリカ合衆國の牛馬でも豚でも緬羊でも我が國とは實に桁違で殆どお話にならぬ位であります。牛は我が國の五十倍、馬は十五倍、豚は實に百倍、緬羊に至つては二千七百四十倍といふ有様であります。従つて羊毛の産額はアメリカ合衆國が世界第一で、實に九億萬噸、英國の四千八百萬噸に比し優に二十倍の産額であります。農業は我が國と異り棉花、玉蜀黍、燕麥、小麥、馬鈴薯等を栽培し收穫するのでありますから大農主義であることは勿論であります。我が國から移民した人達が米作もなし野菜類の栽培を盛にやつてゐますが茲に游牧民族と土着民族との差異が著しく現はれてゐることは申すまでもありません。

アメリカ合衆國は天産物に富み、銅でも鐵でもまた石炭でもその産額は素張しいものでありますし、石油と鹽とに至つては世界第一、世界石油産額の六割がアメリカ合衆國から産出するといふに至つては只驚く外ありません。それでアメリカ合衆國は天恵の豊富なる上に、技術能率の増進新式機械による大規模生産設備の發達、販賣方法の新研究等が常に企てられてゐるから工業は近時著しく發達してゐます。到底貧弱な我が國などがより附けも出来ない位な富力を有してゐるのであります。

アメリカ文明のバンドは北緯四十度を中央とした南北五度の間にあるといつても差支ないのでありますが、是等の地方の氣候はまた我が國と大に異なる所があります。矢張面倒でも氣温表と温度降水量表とを示す必要がありませう。

	ポストン	ニューヨーク	ワシントン	シカゴ	サンフランシスコ	東京
一月	零下二・八	零下〇・五	一・一	零下四・三	九・八	三・〇
二月	零下二・二	零下〇・八	一・一	零下三・二	一一・二	三・七
三月	一・二	三・一	六・〇	一・三	一二・一	六・九
四月	七・三	九・五	一二・一	七・九	一三・〇	一二・七
五月	一三・六	一六・〇	一八・〇	一三・三	一三・六	一六・五
六月	一九・一	二一・一	二三・一	一九・二	一四・四	二〇・五
七月	二一・八	二四・〇	二四・七	二二・五	一四・五	二四・一
八月	二〇・六	二三・〇	二三・六	二二・一	一四・八	二五・五
九月	一六・九	一九・四	二〇・一	一八・五	一六・二	二一・九
十月	一一・一	一三・二	一三・六	一二・二	一五・九	一五・九
十一月	四・八	六・七	七・五	四・五	一三・六	一〇・五

十二月	零下〇・五	一・三	二・四	零下一・一	一〇・四	五・三
平均	九・二	一一・四	一二・七	九・四	一三・二	一三・九

この表を見ると、さすがアメリカ大陸程あつてポストンでもニューヨークでもシカゴでも一月二月三月十二月が著しく寒冷なことが分りませう。しかしサンフランシスコは實に不思議な氣候で、十二月でも七月でも殆ど變化がなく、年中春で、冬もなく夏もないのであります。同じくアメリカ合衆國でもフロリダ地方に行けば著しく暑いのであります。ヨーロッパから移住したものが發展した地方が自ら氣候に支配せられてゐるのも興味あることであります。英國獨逸ポーランドロシヤ、瑞典、諾威の人々がアメリカ合衆國の北部に多く、フランス、イタリー、スペイン、葡萄牙等の所謂ラテン民族はメキシコからフロリダ、サンチイゴなどの南方に多く居住するのも氣温の關係であります。我が同胞が主としてロスアンゼルスを中心とする南カリフォルニア、テキサス、フロリダ等南方諸洲に比較的多く發展し野菜物などの栽培に全力を注いでゐるのも氣温に支配せられてゐるのであります。大體論からいへば游牧民族としての白人は四十度附近の牧場平原に多く分布し、土着民族である黄色人が六十五度附近更にそれ以南の農耕の地に力強い勢力を得てゐるのであります。

一般にアメリカ合衆國は乾燥してゐます。所によつて相異もありますが年中殆ど平均した温度であります。東京のやうに冬季は著しく乾燥して夏季には温度が大であるのと異り、年中平均してゐるとはい

ふものゝ、冬季が稍々温度が大なる傾があります。冬季温度が大なるときは氣温が低くとも寒氣が著しく身にしみません。また夏季乾燥してゐるときは氣温が高くとも凌ぎよいのであります。近年夏の氣温が高くニューヨークなどで死ぬものがあると新聞電報などに見えますが、これは主として白人の皮膚が弱く寒氣に比較的に耐えるが、暑熱に抵抗する力が弱いからであります。しかしまた夏季氣温が高くなり乾燥してゐるから、發汗著しく食物は水分の少いパン食といふ關係などから體內水分の欠乏で日射病にかゝるものが多い結果死亡するものを出す譯であります。尙ほアメリカの氣候では問題とならぬ鐵筋コンクリートの建築も我が國では大に講究を要するのであります。濕氣の多い我が國で窓も少く、壁も厚い鐵筋コンクリートが著しく問題になるのは當然であります。またアメリカで發達した建築様式は氣温も温度も大に異なる我が國で直に模倣出來ず降水量の著しく相異することも、大に考慮せねばなりません。左に降水量を比較いたしませう。我が國は島國でありますから雨量の多いこと驚くべきもので、ヨーロッパのどこよりもまたアメリカ合衆國の何地よりも降水量が大であります。

	ポストン	ニューヨーク	ワシントン	シカゴ	サンフラ	東	京
一月	九四	九〇	八六	五三	一二五	五五	
二月	八九	九〇	八四	五五	九一	七三	
三月	一〇四	九五	九八	六二	八二	一〇八	

四月	九七	八六	八一	七〇	三七	一三三
五月	九四	八二	九二	九三	二〇	一五五
六月	七九	八四	一〇八	一二八	五	一六四
七月	八九	一一一	一一六	一七四	一	一三八
八月	一〇七	一一二	一〇九	一七二	一	一六六
九月	八五	九〇	八六	一二九	一〇	二三五
十月	九四	九九	七七	九七	二七	一九五
十一月	一〇四	七九	六三	六四	六〇	一〇〇
十二月	九七	八七	八二	七四	一〇四	五三
全年	一一三四	一一〇五	一〇八二	一二四七	五六三	一五七四

ニューヨークでもワシントンでもまたシカゴでも、雨季は六七八月にありますが、サンフランシスコは十二、一月が雨季で七八月頃は殆ど無雨といふ有様であります。東京がどの都會よりも降水量が遙かに多いことは建築方面に餘程考慮をせねばならぬことであります。

四、

アメリカ大陸は世界各國の移民地であります。アメリカ合衆國がヨーロッパの移民で今日を致してゐることは既に述べた通り。而して一億のアメリカ合衆國民は我が國の如く單純な一族ではないのであります。尤も我が國でもアイヌや朝鮮人支那人と三四種の民族を混じてゐますが、アメリカ合衆國は實に世界各民族の寄合であり、合衆であります。一九二〇年の統計を見るとアメリカ合衆國民は

白 人	九、四八二萬人	ネ グ ロ	一、〇四六萬人
インヂアン	二四萬人	支 那 人	六萬人
日 本 人	一一萬人		

であります。それで白人九に黑人及黄色人一の割合であります。

更にこの白人とても二種に分れます、それはアメリカ産のものと、他國産のものとであります。アメリカ産の白人は父が祖父の代にアメリカ合衆國に移住したものでありますし、他國産のものといふのは當人がアメリカ合衆國に移住したものであります。アメリカ産の白人は八千百十萬人で、他國産の白人が一千三百七十萬人でありますから、白人の八割はアメリカ産、二割他國よりの移民であります。更にこの他國よりの移民もヨーロッパ各國からのものであります。統計表に上がつてゐる國だけでも四十餘ヶ國。その中最も多いのは英、獨、伊、露、奥の諸國、更にポーランド、瑞典、チッコスローバキヤ、諸威等であります。従つて一概にアメリカ人と稱しても世界各國人を包含してゐる譯であります。試に

女子のハイスクールなどを參觀するとその頭髮の多種多様なる、誠に驚く外ありません。縮毛でどうにも伸びないネグロの頭髮、それから房々した金髪、すじめの巢をつくりの赤毛をおかつばにしたのなども誠に異様な人種展覽會、頭髮陳列室といつても差支ない位であります。それでよくいへば進取の氣象に富んだ人々の集合、惡くいへば世界の浮浪人、ヨーロッパの喰ひあましものが過去百年間に發展してゐるのがアメリカ合衆國であります。

アメリカ合衆國では人口百萬以上の都會が五、五十萬以上の都會が十四、三十萬以上の都會が二十五二十萬以上が三十八都市。更に十萬以上の都市が八十もある位でありますから人口の都市に集中してゐることは甚だしいのであります。尤も英國は世界第一に人口が都市に集中してゐますし、獨逸も亦甚だしいのであります。アメリカ合衆國も人口の都市集中は著しい現象であります。我が國の如く土着民族で田地を周圍に控へた農業國でさへ近時工業の發達につれて人口が都市に集中する傾向が著しく大となつてゐるのでありますからアメリカ合衆國などは一層甚だしい譯であります。牛馬綿羊などを放飼する牧畜業者は村落に生活せねばならぬ必要がないのであります。いろ／＼の必要便利等から都會生活をなすものが多く、工業の發達は一層人口の都市集中を促進してゐる次第であります。それでアメリカ合衆國では村落の小學校は自動車で生徒を集めて學校に送り、更に自動車で生徒を學校から家庭に歸らしめねばならぬ所が甚だ多いのであります。

アメリカ合衆國のハイスクール。ハイスクールは我が國の中學校に相當するものでありますが、その僅かに七%が第一級、十%が第二級、残りの八十三%が第三級に屬するものであると申します。第一級のハイスクールとは人口平均十一萬二千の居住者を有する都市にあるハイスクールで一千二百の生徒を有し、三十七人の教師をおき、それ／＼専門學科を教授し得る比較的優良な學校であります。第二級に屬するハイスクールは人口一萬五千の居住者を有する町にあるもので、生徒は百六十五人、教師七人、一教師が類似の數科目を教授する程度の學校であります。第三級のハイスクールは人口平均六千三百六十の居住者を有する村落にあるもので、生徒は七十人、教師は四人、一教師が五六科目を受持つ學校であります。しかも是等の學校に集まる生徒は世界各國の人種民族を網羅するといつた有様でありますから中々大變であります。尤も類を以て集まることは東西を通じての眞理でありますから、一部落をなすものは同一民族が、近い民族であることもありませう。それは支那人日本人などの多く住む町があり、イタリー人、猶太人の部落のあるのを見ても分りますが、白人は黄色人種に比べて游牧の民なるが故であります。部落をなす性質に乏しいやうであります。

兎に角人種の多様なるだけ宗教も異り言語も異なる所謂合衆國であります。是等を一團として統一することは甚だ困難であります。それで教育制度などは洲によつてそれ／＼異り、四十八洲悉く違つてゐるし、また各村落によつて各都會によつて異なるのであります。我が國の如く小學校令があつて全國の小學

校が之に統一せられてゐるのは異ります。各小學校はその父母がなす教育の代理をなす所であつて各個人の必要を中心とした教育が施されてゐるのがアメリカ合衆國の教育であります。只洲は大體の取締をなすだけであり、アメリカ合衆國は各洲の教育に任せる外に規則も命令もないのであります。しかしアメリカ合衆國の先覺者は均しくアメリカ合衆國の住民、殊に他國よりの移民に對しアメリカナイズすることに非常な努力をせねばならぬことを鼓吹してゐます。アメリカの國語、アメリカの歴史、市民科等の教育に小學校もハイスクールも骨を折つてゐますし、大都市では夜間授業料なしで是等の教育を施してアメリカ化することに多大の經費を投じてゐるのでありますから幼稚園時代からこのアメリカナイズすることは至極重視せられてゐます。幼稚園から小學校にかけて毎日若くば毎週二三回必ず朝の集會を催します。ヨーロッパの學校幼稚園の如く宗教的の禮拜をするのではなく、日本フランスの如く修身訓話でもないのであります。アメリカ合衆國の國旗を中心としたアメリカナイズ運動の實行であります。合衆國の國旗を旗手が壇に運ぶと茲にアワーカーントリーを一齊に歌ふ。「吾等の國」は我が「君が代」に相當する合衆國の國歌、それを歌はしめて國家觀念を養ふことに努力してゐます。また二月二十二日のワシントン誕生日、二月十二日のリンカーン誕生日、七月四日獨立記念日などの國祭日にはアメリカ合衆國を表徴するため幼稚園でも保育室に萬國旗を吊して特にアメリカ國旗を強く印象させ、ワシントンのモニュメント、ワシントンの肖像、リンカーンの家、などを造らせたり畫かせたりしてアメリカ建

建國の由來アメリカ合衆國のよいことを小さい中から意識させる事に努力してゐるのであります。

五、

アメリカは女の威張る國、所謂女尊男卑の國で女權の最も伸長してゐる國であります。ホテルの廊下で女に遇へば見ず知らずの人に對しても男は帽子をとらねばならぬ。エレベーターに妻君が乗つてもその夫まで帽子をとらねばならぬ。婦人は帽子もとらず顎でしやくるやうな挨拶をしても男は最敬禮をせねばならぬといつた有様はその一例でありませう。「アメリカで婦人の後について道路を横切ると全く危険がない」とは多くの日本人がアメリカで利用するところであります。五人に一臺といふアメリカの自動車のことでありますから、ひいて知らぬ顔、ひかれてひかれ損といふのがアメリカの道路であります。それが男に對してのこと。女に對して一寸でもかすつたり觸れたりすればサー大變、ひどい目に遇ひますから自動車はレーデイには細心の注意を拂つてゐます、それで婦人の後について行けば自動車にひかれる氣遣がないのであります。これはヨーロッパでも殆ど同様で女の後について道路を横切るのが安全であります。アメリカでは一層女子尊重でありますから好都合であります。尾羽を廣げた孔雀の後について行く雌の孔雀反對の現象かも知れませんが兎に角事實であります。

一體我が國では女一〇〇について男の割合は内地が一〇一で、朝鮮が一〇五、臺灣が一〇六、帝國全版

圖を通じては一〇二であります。しかしヨーロッパ各國では女子超過で、女一〇〇に對する男の割合は英國が九・一四、獨逸が九三・〇、瑞典が九六・四、戰前ではあるがフランスが九六・六といふ有様で、とても全體に男が少く、女が多いのであります。女の少い日本で女を尊重せず、女の多いヨーロッパで女を尊重するとは一寸不思議にも思はれませう。尤も女が多いから威張るのであるといへばそれまででありませう。しかし土着民族たる我が國では女は弱いもの、之を保護するため女を家内に入れ、男が屋外に立つて敵を防ぐといつた譯。自然女を第二に置くのでありませう。游牧生活をする民族では女を敵より防ぐには逃がすに限る。男は後から女を保護するが爲めにレディヌファーストといふ習慣にもなつたものでありませう。世界どこへ行つても一般に女子が男子より弱く多く保護を要するのが自然であります。人格は男女によつて相異なくとも表面的には女尊男卑とも男尊女卑ともなりませう。兎に角アメリカ合衆國の統計では一九二〇年に於て男五、三九〇萬、女五、一八〇萬人でありますから女の百に對し男は一〇四の割合を示してゐます。またアメリカ生れの白人についていへば男四、〇九〇萬人に對し女は四〇二〇萬人、他國生れの白人では男七五三萬人に對し女は六一八萬といふ統計であります。こんな有様ですから女を大切にする男女が自然に威張るといふ結果になつたのであるといはれます。しかしアメリカ合衆國では男女共に自活する能力を具備してゐますから女は男子より獨立した生活をなすことが出来るから女權が伸長してゐるのでありませう、女が男に依存するやうな家庭生活をなさずして女子の自活

するものが多いことは女子の獨立で男子の干涉や保護を受けないので自然我儘にもなり威張るといふ結果にもなつたものでせう。

試に合衆國に於ける公立學校職員の統計を見ませう。一八九〇年に男十二萬五千に對し女が二十三萬八千人あります。この當時より女教師は男教師の際二倍、實教育の勢力は女子の手にあつたものであります。それが一九〇〇年には男十二萬六千で僅かに一千人の増加であります。女は二十九萬六千人で六萬人近い増加を示して居りませう。所が一九一〇年になると男教師は十一萬人に減少して女子が四十一萬三千に激増してゐます。これは男子が次第に工場に去り教育は女子の一手販賣となることを示してゐるのであります。歐洲大戰後の一九二〇年になると一層甚だしくなつて男は九萬七千に減少し女は五十八萬二千に増加して居ります。しかし一九二四年には多少男が増加して十二萬七千人に増加してゐますが女子は六十三萬人になつてゐます。即ち女教師五人に對し男師が一人といふ割合でありますから幼稚園は勿論小學校中等學校を通して女教師の全盛であります。男子で教育に従事するものはアメリカネグロかインヂアン。白人では工場で働けない不具者の如きものであります。従つて是等知識階級の婦人が合衆國婦人の思想を代表し婦人の地位を伸張するに偉大な力を持つてゐることは無論であります。

小學校教員中には男三九人、女二一人に博士號を有し、男一八八人、女二七五人は學士號、男七四九人、女二七九一人が得業士の學位を有するといふのでありますから大體に於てアメリカ合衆國の小學校

教師の力量が進んで居り、女にも立派な人々が教育事業に従事してゐるのであります。試みに合衆國に於ける大學カレッジの生徒數を検すると左の如くであります。

年次	男	女
一八九〇	四六、二二〇	二二、〇三六
一九〇〇	七五、四七二	三八、九〇〇
一九一〇	一一九、〇二六	六四、五四六
一九二〇	二二二、二四二	一三四、四五二
一九二四	四五七、七〇一	二六八、四二三

右の表を注意して見ると男女共に大學學生の増加は著しいもので、一九二四年には男子が四十五萬以上、女子が二十六萬人以上といふすばらしい數を示してゐます。是等の中には大學夏季の短期講習に於ける専門教育高等教育を受けたもの、數も含まれてゐるが兎に角著しい數であります。しかも男子の増加率よりも女子の増加率が非常に多いことも注目すべき點であります。

アメリカ合衆國に於ける女子の俸給といつても明白な統計が手に入らないが、ニューヨーク州に於ける統計によると女子初任のタイピストが十三弗から十七弗。熟練したタイピストは十八弗から二十七弗であります。また女子のセクリタリーは二十五弗から四十弗。小學校幼稚園奉職の女教師は三十弗から

五十弗といふのであります。そしてニューヨーク州で女子の平均俸給は十八弗であると申します。是等は勿論一週間の俸給でありますから一日當りが女教師ではザツト日本金の十圓から十五圓であります。しかしそれでも矢張生活難。男子などは大工、職工などよりも遙かに劣ると言はれてゐます。先づアメリカ合衆國を通じて小學校幼稚園の教員の年俸は二千弗及至三千弗、校長の年俸は四千弗乃至六千弗、それが日本金に換算すると倍額以上になることを記憶せねばなりません。

釣糸を上げし水輪や秋の風

樂堂

幼児期の情意教育に就て (二)

大塚 喜 一

第二章 兒童の模倣と徳育

「學ぶ」は「まねる」より轉化せる語なりといふ如く、兒童の模倣が教育上殊に幼時期に於て大切なるは明である。然れども兒童の模倣を智育方面より研究せる書の多さに比し、之を情意育の方面より考察し、殊に最も肝要なる兒童の徳育方面に論及して實際家の指針となるべき著述・學說等を發表せるものは、淺學なる小生の之を見出し難き所である。此間にありて、福島政雄先生著「實踐教育上より見たる兒童の模倣」なる書は、其序文の一節に於て「余は人格と人格との接觸感應を社會の理法に尋ね、之を兒童の模倣性の發達に探つて遂に人格感化の秘奥の一路に入り、之を此著に闡明せしむ事を努む」と云はれて居る通り、筆を日常何人も見聞する平凡にして屢々起る兒童生活に起して次第に人格の高峰に向ふ情意育の過程に分け入り、遂に「知行合一」の理想境に迄突進み、人の一生を支配する確固たる性格を其兒童期の無意識的の暗示模倣の中に形成し陶冶すべきを述べられたるは吾人の最も意を得たる所である。以下述ぶる所は主として本書を參考とし、其拔萃を編者の考にて纏めたるものである。

著者は先づ第一章「模倣と教育」に於て、「本書に於ては人と人との間に行はるゝ暗示によりて人の行動を模倣する事を主として研究せんとす。『無爲にして化す』といふ事が實踐躬行の模倣の重要な方面である。」と述べ、第二章「模倣と身體及精神」に於て、身體の有機的組織の同一といふ事及先天性としての模倣欲動の存する事の爲めに模倣が行はれるのであると説き、次に模倣が發達する爲の必要條件として

一、腦髓殊に大腦皮質の可塑性(本誌前號參照)

二、記憶と習慣

(習慣は特別な事情の下に本能と固く結合す)

を擧げてゐる。是等を基としての兒童の發達の各時期に於ける模倣を考察し其教育的意義を闡明するのである。

扱て、兒童の年齢の幼き程其受くる影響感化の深さを思へば、嬰兒が最初に示す反射的模倣は實に教育上深甚の意義を有するものである。教育者たる事を自覺せると否とに拘らず、嬰兒に日常接する父母、親近者の性格の特徴を表示する身振動作表情等は、幾度も繰返して嬰兒に反射的に模倣せらるゝが故に漸次その年齢の進むにつれ日に月に多かれ少かれ永久的なる一定の影響の痕跡を兒童に與ふ。かくして

兒童の習慣や性格が固められて行くのである。

此事は精神分析の方より見れば極めて興味深き問題である。ヒングレー原著、寮佐吉氏譯「精神分析學」(一七一——一七二頁)によれば

「發達しつゝある子供の性格上に陶冶的影響を及すものは、兩親間の隠されたる不和、秘密なる苦惱、抑壓されたる願望等にして、是等は遅々たれども確實に、無意識的であるが根據深く子供に植え付けられ、從て子供は外界に對して同様なる反應を爲す様になる。何となれば、是等の下意識的情緒は其個人に外面的の表徴を有する或る感受状態を作らせるから、これが子供によりて反射的に模倣せられて子供の心の中へ同様なる状態が作られるのである。マクドローも云へるが如く、情緒は身振りが模倣せらるゝ以前に交感的に感應せらる。」と。

「模倣は暗示の結果である。」事を思へば此事は當然である。

兩親の下意識的生活(我知らず爲す行動云爲)が斯く最初期の印象を支配するを思へば、眞に「自然」の道に副はむとする教育は實に其親たらむとする人の教育より初められねばならぬ。何となれば、かゝる下意識生活の統制は、既に年長じて大人となる親にとりては今更極めて困難なる事であり、清く柔かなる嬰兒の心に己が醜き心の奥底迄も印象されてゆくを恐れつゝ、自己の修養の遅々として進み難きを歎ぜざるを得ないからである。私が本文第一章の始に於て「妊娠前より自己の日常生活を統制し

以て神聖なる天使の産れ来るを待たねばならぬ」と述べたるは即ち斯かる知らず識らずの中の感化影響を恐懼するからである。斯く考へ來れば、今より數年の後親となるべき處女が純真健實なる生活をなす事は、次代の國民教育上より見て最も力強き皇國の礎である。倉橋教授は「家庭教育とは家庭生活そのもの、有する教育効果を實現する事である」と云はれ、羽仁女史は「親の生活は即ち子供の教育なり」と云はれた。

子供が少しく長じて滿一歳内至三歳頃となれば、特に人に對する被暗示性を著しく發現し來り、特に人を模倣せんとする。著者は此時期を「人格の模倣の萌芽期」と名付け、又一名之を「模倣全盛期」として其教育的意義を論じてゐる。

此時期の第一特徴は、嬰兒は母親や乳母の如く常に自分が取扱はれてゐる人から抱かれる事や其人に取扱はるる事に快感を覺え、其他の人に取扱はるゝ事に不快を感じて泣き叫ぶ事である。此辨別の感は驚くばかり鋭敏である。而して其理由は、母親や乳母が子供を扱ふ方法が不知不識の間に其人格を暗示する爲であらうと解せらる。斯の如くにして一度母親や乳母の特質を感知すれば、それが嬰兒の一般感覺に於ける一種の習慣となる。此習慣が嬰兒を吸引する力は實に其快苦の感をも超越する程である。これは全く嬰兒が習慣的に母親や乳母の特質とよく順應してゐるが爲であつて、かゝる感覺の習慣が心身發育上に至大の影響を及ぼす事は、發生的見地より心身相關の微妙の理に思ひ到らば其然るべき所以を

知るであらう。

次に此時期の模倣はカークバトリック氏の云ふ「自發的模倣」に當る。氏の所説 (Kirkpatrick, — Fundamentals of Child Study p. 164) によれば「自發的模倣の價值は、模倣されたる事物が智識の形又は運動の能力として蓄積せられ、それが使用せられ、分析せられ結合せられ、斯くして將來或目的の行動に役立つ所に存する。子供は音響又は運動を其見聞したるまゝに知らんとするのみならず、又自ら之を發聲し遂行したる時に感じたる如く習得せんとするものであるから、斯の如くにして得られたる知識又は經驗は客觀的であると共に主觀的である。子供は之に依て世界の萬物と親しき心の關係を結び、外界を内界に取入れる様になる。而して斯かる智識は其基礎も固く深く子供の性格に根を下さんとするものである。」

斯の如き傾向は、幼兒の徳育上重要な教育的任務を吾人に課するものである。子供は身自ら他人の動作を模倣して實行するのであるから、自分の心の内部から切實に動作を感ずるのである。子供は生之初に於て既に吾人を模倣して動作する。人格の模倣の萌芽期に於て、人の動作を模倣する事によりて人と人との關係に關する實踐的知識を得るものである。しかも斯の如き模倣は、子供が其意味を知り盡してから模倣するのでなく、其意味を知るに先つて動作は既に幾度か模倣せられたる結果として子供に一通り固まつた習慣となつてゐる場合が多いのである。而して此習慣は幼兒が其日々の家庭生活に於て父

母の愛育の裡に徐々に形成され、漸て彼の一生を支配すべき決定的性格に迄固まり行くのであるから、幼児教育の徳育方面は實に父母及他の家族員（雇人、出入の人等をも含む）が子供の旺盛なる模倣殊に自發的模倣を善用して善良なる習慣を養成する事に存する。

子供が更に長じて満三四才より九才頃迄は、想像作用の最も活潑に働く時期である。カークパトリック氏は、子供が想像を盛に働かせて戯曲的に人の爲る事を模倣する時期を四才より七才迄の間としてゐる。かゝる想像的遊戯は、個性と環境との相違によりて種々異なる態を具へるが、之を通觀すれば人生の模倣といふ點に於て共通性を有するのである。子供が人形又は一本の棒を生きた人間としたり木の枕を家としたり等する想像作用はそれ等の人や物に纏綿した感情に依るのである。而して斯かる遊戯に用ふる事物に對する時、子供の心には實際の人や物に對する時と變らぬ感情——寧ろそれ以上の強い感情が湧くのである。遊戯する子供は、單に眼前の事物を變化したと想像する事に云ひ知れぬ満足を感じるものであつて、實際の變化は却て好まぬのである。即ち此際の事物の想像的變化は子供の情性に満足を與ふるものである。されば、此時期は感情陶冶の最も大切なる時期であつて、此眞剣なる無邪氣なる幼児の感情生活の環境として家庭は最良の教育所とならねばならぬ。

次に、人生の模倣たる遊戯の教育的意義は、ゲロース氏 (Karl Groos) によれば、遺傳的の反應が生

長期に於て著しく現はるゝ「動作を渴望する心」の助を受けて自ら活動し、之に依て新經驗獲得の素地を作り、斯くして遺傳的基礎の上に新しい反應の習慣を建設する所に存する。殊に生具的なる模倣^{●●●●}慾^{●●●●}動^{●●●●}は此新經驗獲得の道行をして成人の習慣や能力に副はしめ、子供自身の主觀に於ては活動それ自身を樂しむ遊戯は、之を客觀的に一生涯を通じて見れば、其兒の將來の生活に對する最も適切なる準備となつてゐる譯である。（凡そそれ自身生活^{●●}たらざれば他の時期の準備たり得ず）

幼兒にありては想像の世界と現實の世界とは極めて近接したるものであるから、親子兄弟等の關係を寫し出せる模倣遊嬉は即ち直に孝悌の徳の實行である。斯かる遊戯の中に及日常生活の行動云爲の間に實行によつて種々の感情は子供の切實なる經驗として子供の腦裏に習慣性として蓄積せらる。其過程が無意無心の間に行はるゝに至れば、暗示模倣の微妙の感化は幼兒の下意識に迄浸潤し行くのである。

次に、著者は更に發達の段階を追ふて意志的模倣に就て述べてゐる。これは前の想像期の終頃に漸く形成され其後年を追ふて徐々に成熟するもので、兒童が示されたる模範と自己の之を模倣する行爲との差違を意識して模範に一致せんと努力するを云ふのである。モイマン氏の實驗的研究によれば、兒童が意志的模倣を爲す時期に至つても尙暗示感受性は相當働くが、其度は七才から十五歳迄次第に減じ、反對に暗示に對して抵抗する力が増す様がわかつた。

されば、被暗示性に富む幼時期に於て、徳育上善良なる模範を示して其意志活動に一定の習慣を馴致する様に努むれば、漸て年長じて被暗示性を滅し暗示に對する抵抗力が増すに至れば、兒童は既に獲得したる意志の習慣に依り、不良の暗示も排除して自己確立の第一歩に入る事が出来る。殊に無意無心の暗示模倣の薫育が兒童の下意識に迄徹底するを得れば、兒童をして後年求めずして自ら善に就き惡を去るの良習を確保せしめ得べく、斯くして「心の欲する所に従つて法を矩えず」てふ理想境に近づくを得るであらう。

以上は發達の順序に従つて述べたのであるが、次に稍見方を變へ、主として徳育に關係深き情意相關の陶冶過定に就て述べやう。

凡そ感情は人生に於て大なる力を有するものであるが、吾人が特に注目せんとするは意志の動機としての感情の力である。感情の性質上經過的であつて生滅常なきは其一面の相であるが、しかも一人の生命ある人格に就て見れば感情の發動には一定の傾向が存する、即ち感情發動の個人的差違並に感情に附屬した個々人の習慣があつて、是等の傾向は人より人へ暗示により不知不識に傳はるものであるから、茲に感情陶冶が可能となるのである。其有様は前に子供の模倣の發達の順序に従て其教育的意義を述べたる所々にて略々察せらるゝ事と思ふが、茲に注意したきは感情と直觀との密接不離の關係である。感

情は必ず或直觀に伴ひて起るものであり、直觀は感情を湧起して外界の事物を内部の精神生活に觸れしむるものであるが、徳育上大切なるは人生に於ける道德的行爲の直觀である。直觀によつて惹起された情操をして意志活動の動機に於て最も有力なる支配者たらしめ、性格發動力たらしむる程深く精神生活に入りしむる手段こそは模倣に外ならない。暗示模倣に依て行ふ行爲即之である。兒童が直觀した徳行を暗示模倣の働に依て實踐躬行する時、徳育上の直觀の意義は全うせられるのである。直觀に依て兒童の道德的情操が鼓吹せられて奥深く兒童の精神生活に觸れ、兒童は茲に直觀の暗示に依つて一定の力を精神内(上として下意識界)に受容すれば、此力は其後機會ある毎に兒童の動作に發現して、兒童は殆ど無意無識の間にでも其直觀した行の模倣を反復する。是、實行の習慣の第一階様であつて、之に依て道德的情操は兒童の性格の一部として其精神生活内に織込まれ將來の行爲を支配するに至る。

次に、斯の如き直觀に伴ふ感情は、兒童が悪習慣を去りて善習慣に移らむとする動機となるものである。たとひ兒童の悪習慣の根が堅いにもせよ、苟も教育者と兒童とを繼ぐ信と愛との絆が永遠に固く常住不變なりせば、一日一日と其間に行はるゝ直觀暗示の力はいつとはなしに兒童の心の奥に浸み込みて其中何時か意識に觸れて兒童の精神生活を覺醒すべき潛勢力である。人格の光の暖か味を受け目に見えぬ浸潤の力を暗々裡に受容した彼が、一度肅然として希望の大空を仰ぎ、一度翻然として過去の非を悟る時、茲に躍如たる道徳的情操が喚起せられて彼は奮然嚴起して自ら悪習慣打破の第一程を實行するで

あらう。一步は百歩の初である。一度悪習に打勝ちて意志の勝利てふ自己衷心の愉悅を實感するなれば、其後は度重る毎に加速度面に其行爲を容易にし遂に全く悪習を根絶して良習を確保するを得るであらう。

實行の習慣の陶冶の理想は知行合一の人を作るにある。此知と行との間の關係を結ぶものは前述の道徳的情操である。實に一の善言を聽き一の善行を見ては、必ず之を自家の模範として取入れ、機に應じて自然に之を實行に現す様な人格を作る事が徳育訓練の目的であり又教育の目的である。たとひ斯な様理想の境には達せずとも、兒童期に於て陶冶せられたる實行の習慣が確實なれば確實なる程、成長の後人生に處して知行合一を得る事が容易となるであらう。



子供の遊戯と表情

三 浦 ひ ろ

遊戯と表情

遊戯の中には表情遊戯といふ一類があるものとして取扱つてゐる人があります。しかし私は遊戯の分野にさういふものがあるのかないのかわりません。私は只すべての遊戯は表情遊戯だといふ斷定のもとに考へを進めてゆき度いと思ふのであります。そしてなほ私は、其の表情といふ眞意は人格の表れだといふにさへ考へてゆき度いのであります。つまり表情遊戯といふのは特別なしなを作ることではなくて自分の人格を、もつと簡單に言へば時に表情遊戯といふ言葉が、或は概念が、何かか

う一つの詩を手先又は顔面の運動の變化によつて翻譯せられたものゝやうに考へられてゐるやうであります。ですから子供の爲の表情遊戯には唱歌の歌詞を動作によつて言ひ表さうとしたのが多いのでありまして、所謂振といへば大抵かうした種類のものを意味してゐると考へても大した誤はないうやうであります。中には表情といふ事はしなをする事だとさへ考へてゐる人がありさうに思はれます。

しかしそれは私の考へからいひますと大變に誤つた事のやうです。私はいつても我々の一舉手一投足がすべて私の表れだと心得てゐますから何も特

別なしなどする事が表情などとは考へられないのであります。かへつて手足のわざに極限せられたやうな動作は大きい何かしら嚴かな意味の表情ではないやうに考へられて居ります。

繪絹に染められた一つの線が大山の趣きを立派に味はして呉れますでせう。大理石に加へられた一片ののみが美の極致を示してくれる事もありませう。

しかし美しい友禪の布に描かれた極彩色の繪が目先の美さの外に我々のたましひに迄呼びかけるやうな力強いものを與へてはくれません。友禪模様と所謂表情遊戯とを比較したりしては、大變にすまないやうな氣も致しますけれども、やつぱり何處か似通つた點を感じるものがないとは言へません。とにかく私のいひ度い表情遊戯とは我々の身體的動作(即ち遊戯と稱せらるべき範圍の)が我々の心を十分に盛つてゐるものでなければならぬ

のであります、即ち其の動作を通して其の人格の仄きを見ることの出来るものでありたいのであります。

表情の種類

こゝに考察の順序として表情の種類について考へてみたいと思ひます。勿論種々の方面からいふ事の出来る問題でありまして立脚點を異にすれば多方面から考へる事が出来るのでありますが、今茲では大きく二別致しまして、一は動く表情と、一は動かぬ表情といふことにしてみたいと思ひます。これは單なる一つの動作、例へば脚を前に上げるといつた様なものに於いては適用されないのです。一つのまとまつた遊戯として表れる場合の表情なのであります。

動く表情といふのは即ち遊戯の材料が活かせる場合の表情で、つまり或一定の變化を伴つたものを意味するので「フランスの王様」に表れる兵

士の表情などは誠に簡單ではあるのですが、この動く表情でなければならぬのであります。

動かぬ表情といつたのは丁度前の場合と相反した時で、動かぬ材料を取扱ふべき場合に起る表情で、終始一貫して無表情であることなのであります。例へば「鉛の兵隊さん」が教練をしてゐるところ、又は人形が種々のステップを練習するといつたやうな材料であれば、鉛の兵隊も人形もいづれも作られたものであつて無表情である筈なのであります。でこれ等の材料に接した場合にやたらに表情を作るやうな事があればかへつて不自然な技巧となつてしまひます。どうしたつて無表情の表情を以つて終始されなければならぬ筈のものでありませう。しかし無表情の表情とこゝで言ふのは決して表情が無いと言ふ事を意味してゐるのではなくて、所謂表情のないと言ふ表情なのであります。

すべての遊戯が表情遊戯だと考へるといふ私の考へでゆきますと、遊戯はこれ等の何れかの表情を持つてゐなければならぬ筈であります。

そして材料の性質によつてこれ等の表情が最も自然に表れるやうでなければならぬので、動く表情は一つの材料を通して一貫した生命を持つた動き方でなくてはならないし、動かぬ表情も亦一つの遊戯材料中一脈を作つてゐなければならぬものです。

これは子供の爲の遊戯の新しい振をつける時、又は材料を選択する爲に大切な事であると思ひます。

子供の遊戯と表情

子供は子供の人格を有してゐます。それは誰でも知つてゐる筈です。ですから遊戯が我々の全人格を盛り込んだものであるならば、子供の遊戯は子供の全人格を盛り込んだものでなければならぬ

いのであります。子供の人格が、子供のたましひが漲るやうに充されてはじめて子供の遊戯は子供の遊戯として生きて參ります。私達は若々しい子供に、生々した子供に大人の表情を盛らうとするやうな大膽さを持つてはならないのです。ところが愛撫の力が強すぎてか、ともすれば一刻も早く大人にしやうと苦心してゐるかのやうに、大人は大人らしさを子供に注ぎ込みます。私はこの事を特に所謂表情遊戯とよんで子供に課してゐる遊戯中にかなり度々認めます。

表情遊戯と稱してゐるもの許りではなくて、唱歌遊戯といつたり律動遊戯と呼んだりしてゐるもの、中にも随分澤山さういふ弊が現れてゐはしないでせうか。

或はいふでせう「これは子供の要求であり、子供の示す動作なのだから子供の自然に背いてはゐない」と。

子供は暗示にすぐかゝります。それは兒童心理學の示す處、極めて明白な事です。大人は自分の考へてゐる事を證し立てる爲に知らず識らずの中に子供に暗示を與へて、それに容易にかゝつた子供の動作なり要求なりをいつの間にか子供自身の自然の要求だと考へたり、彼等の眞摯な叫びだと思ひ誤つた點はないでせうか。私は實際に遊戯についてさういつた經驗はありませんけれど、國語の時間等にかういつた體驗を用心しながらも何度繰返したか知れませんでした。自分と同じ感激を以つて文が味つてほしいといふ我儘から、うっかり上手に暗示を使つて兒童をそれにかけてしまつてさてさうした無理な技巧を用ひた事を忘れてしまひ、子供の感激が自分の求めたものと合つたやうに考へてしまひます。しかし之は大變に危険な事であつたと思ひます。これは國語の時間の一例にすぎませんが、大人對子供の日常にかういふ事

件は數へ切れない程あるのです。ところがもう一つ困つた事は、子供は非常に模倣性の強いものです。善い事によらず、悪い事によらず模倣いたします。たとへ材料が大人のものにしろ、自分達子供に不適當だらうかなどと理窟ををこねる間もなくすぐに模倣してしまひます。ですから不自然な動作であらうが、小細工式な表情であらうが、巧みに眞似をしてしまひます。しかしこれが非常に私達の心を用ひなくてはならない所で、眞似が出来るからといつて眞似許りさせなければならぬといふことは無いのです。消化して子供のものとなる爲の眞似でしたら避けるべきではありませんが、所謂眞似に終る眞似をさせる必要はないのです。ところがこゝに又我々大人の弱點があつて、子供がその本能を満足させる爲にある模倣の巧みさにひかれてこれを子供の眞の要求のやうに誤認するこ

とがあります。この子供に模倣性の強いといふ事

は非常に大事な事であると共に、又危険な事であるのです。

かういつた危険な事態によつて間違はれた振付が遊戯の中にも這入つてはゐないものでせうか。私は現在の幼稚園又は小學校などの唱歌遊戯等の中に、こんな危険を感じてゐる點が随分あるのですが。

そこで私達のやうに子供の爲に一日を尊く送つてゆく者は、かうした危険に近づかない様に警戒しなければならぬと思ひます。「子供の爲の遊戯とは子供の人格を盛り込んだもの」といふ事を標語のやうに進んでゆき度いと思ひます。

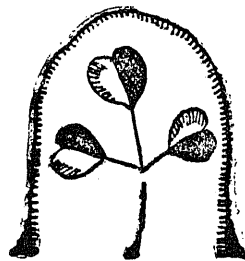
表情はものの自然の捉へて

それには第一に技巧的表情を避けなければならぬのです。——こゝで私のいふ表情は顔面の表情と言ふ意味ではなくて、體全體を指すのです。

——技巧的の表情は或時は綺麗に見えるでせう。

しかし打ち込まれた魂から来る力強い光がありません。それはものゝ真情にふれてないからです。ものゝ自然の姿にふれてないからです。見てゐて空虚な感じが起らずにはゐないでせう。技巧的な表情は大きさを持つてはゐませんですから、さうした表情を表す爲に用ひられる動作はきまつて小さくなります。繊細な動作の持つ力より、私は子供の爲には素描の繪の持つ力を與へたいのです。友禪染の細い繪を美しいと見る眼を轉じて子供のかくの字メの字の持つ力を味つてゆき度いのです。

技巧を捨て、ものゝ自然を捕へ、更に子供の自然を十分に研究してゆかなければ子供の遊戯もいつか大人の表情をもつたもの、つまり子供の着物を着た大人のやうな不自然を表して、立派な子供の藝術から遙かにはなれたものとなつてしまひませう。



お話と劇と

長尾

豊

劇ごつこのお話あそびをするのに、お話がすぐに劇として演出されるものと、手軽く考へる人があつたら、恐らくその人はお話あそびを試みて失敗するであらう。なぜと言へばお話と劇とは根本において異なつたふたつのものだからである。

言ふまでもなくお話の叙述は叙事的であつて、劇の描寫は劇的でなければならぬ。叙事的と劇的と、根本において既に兩者の相違が明らかである。たとへばお話の方で斯様々々の次第とか、コレ／＼かういふわけでといふやうな省叙を、そのまま劇中の人物の言葉としてステエヂの上で話させるわけにはいかない。もつとも初期の劇的なもの、又その形を持ち傳へたものは半ば叙事的な叙述をその中に持つてゐる。お伽草子や古淨瑠璃を受けてゐる近松の初期の院本には、「何をか包まん横笛とは斯様々々の次第……」といふやうな叙事脈が隨

所に散見してゐる。

お話を戯曲形に、脚本體に書直してあるものゝ中にも、地の文の説明を平氣で人物の獨白にして一切を分らせようとする人もある。近來ドイツの表現派が獨白を採り用ひて、カナリ長いひとりざりふを用ひ、それでもつてひと場面を埋めるやうな事をする前までは、獨白は舊いもの、舊い劇の形とされてゐた。兒童劇學校劇が此の常套的な獨白を採り用ひて、劇の説明にかへてゐたのは、舊い劇の形を採つてゐたから悪いのではなくて、演者が動き、場面が活動する劇の説明を採らないで、舊套をもつて間に合はせ、動けない劇をいよゝ動けないものにして、しかもそれを活動的な小さい演者に與へようとしたから間違つてゐると言つて批難されるのである。

二

すぐれた童話のほとんどすべてがもつてゐる事件の反覆、同じことや似たやうなことが漸層的に、累積的に積み重ねられ、いち／＼繰返してゆく形なども、お話形としての面白味であつて、これを戯曲形に書直すことは、ニュウトン學校のブライス女史がその反覆を活用して幼兒演出における同じ言葉をたび／＼使ふことから、覺える分量がすくなく、且つ同じも

のを繰返すので言語習得の便があるとし、さかんにそれを使つて戯曲化を試みたまで、お話劇化の道に横たはる障礙物のひとつとなつてゐた。

童話のやうな變幻きはまりない超自然力の活動、長年月に跨つたりそれを勝手に飛越したり、時所も定かならず、場面の轉換も頻繁なものが、どうして幼児演出の材料となり得るか。これはお話興味の方から見て、童話の一種と幼兒噺、子守ばなしの多くが採られることで解決されよう。場面も人物も多くない寓話は、その寓意のために幼兒演出となり憎いものがない。

「ハバアド婆さんとその飼犬」や、「笛吹息子のトム」のやうなマザアグウスの童話の劇化も、外國では幼兒演出の材料となつてゐる。けれどもこれはマザアグウスに親しみのないわが國の兒童に取つて、同じやうに喜ばれ、同じ程度に演ぜられるべきものかどうか疑はしい。

お話のどこをどう採つてある場面の中にまとめる、劇の形にすることが出来るか、お話を扱は劇ではないから、元よりひと場面にまとめる、ある定まつた場面を表示するといふやうなことは要らないとしても、劇的の別名である緊縮といふことを忘れるわけにはいかない。

そのまゝ立つて演ぜられるお話劇、戯曲讀本といふものが西洋にはあるが、實演用の脚本

集といふものからして劇にも、児童にも、ステエヂにも、教育にも關係のないものが多いわが國には、そのまゝ演ぜられるといふやうなお話集はない。

三

かやうにお話と劇とのふたつを並べて少しく考へて見ると、餘り親近なものとも思はれず、すぐ聞いたまゝを立つて演じて見るといふやうなことが出来ないことさへ思はれて来る。けれどもそれは大人が机の上で考へた所で、實際児童の間ではそんなことが容易に解決され、雑作なく片附けられてゐる。活動的な、仮想的な児童がお話を半戯曲的に、演出し得るものとして扱つてゆく態度と能力は、實に驚歎に値する。けれどもわれ／＼大人はいたづらに驚歎してばかり居ないで、本質的なお話のしらべから、更に本質的な劇の、教育演劇のしらべに進出して、ハンブルな相談相手となりたいものである。児童の凝魂、児童生活の凝視以外に、これらお話のしらべや教育演劇のしらべを實際化する何物もないと考へる。

交通遊びについて (二)

(本誌五月號につづく)

大阪市立道仁幼稚園

交通遊律動遊戲

(一) ハンドシゲナル動作

1、右腕を四十五度の角度にあげ掌を右前方に向ける

次に其手を顔面を過るやうに左方へ腕を泳がせる

次に左腕をあげて同様の動作を行ふ

2、圓心に向ひ兩腕を肩と水平に上げ掌を外方に向ける

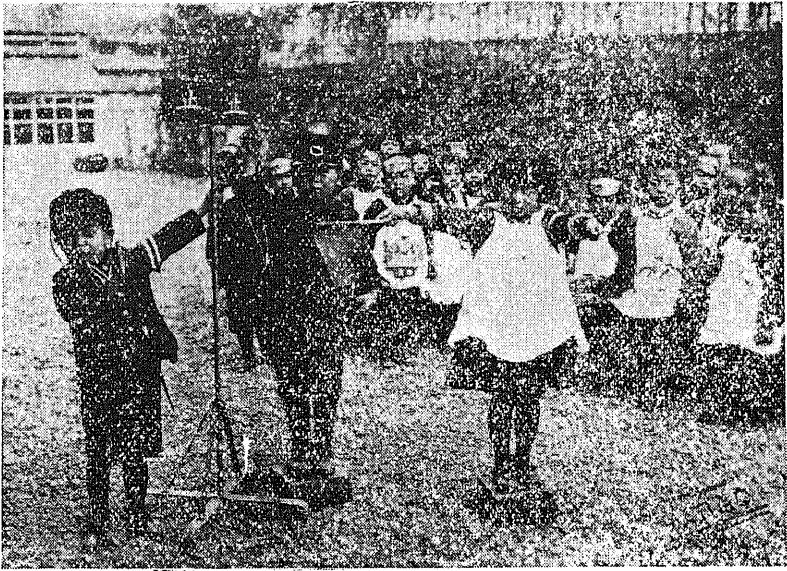
右向と同時に前同様の動作をなす

次で右腕を胸部を過る様に泳がせる

更に左腕にて同様に泳がせる

3、右腕を右方に上げ左腕をまげ人差指にて左肩越に二度手頸を振る次で、左腕をあげ右腕をまげ同様に手頸をふる

4、掌を向き合せ兩腕を肩と水平に上げる



兩腕を胸部を過ぎる様に左右に泳がせ此動作を一
回繰り返す

次で手を腰にとり足拍子三回

(二)次に單に律動に移る

1、互に手をつなぎ四歩前進四歩後退

2、奇偶兩生相對し右足を右に出すと同時に拍手一

回

手を左右に開き左足の爪先を右踵につけ軽く打つ

3、左足を左に出すと同時に拍手一回手を左右に開

き右足の爪先を左踵につけ軽く打つ

4、2、3、の動作を繰返す

5、兩生右方へ三步進み四歩目に拍手と共に軽く飛ぶ

6、兩生左方へ三步進み四歩目に拍手と共に軽く飛ぶ

7、全體右向き兩手を前に舉げスキップにて前進、

最後に圓心に向ひ三回足踏

(一)、(二)全部繰返す

交通遊びの歌

♩ = 76

永井幸次作曲

mf f ff

アレアレ アブナイ チンシャガ チンチンチン シドウシャガ
アレアレ アブナイ コドモガクルクル オチイサンガ

アブアブウ シテンシャガ リンリンリン マヘカラ キタキタ アトカキタキタ
クルクル オバアサンモ クルクル ミギカラ キタキタ ヒダリカラキター

アブナイアブナイ キヲツクロ
アブナイアブナイ キヲツクロ

mf

スツ スツ ウゴイチイケナイ ゴウ ゴウ

ff f ff

ヒダリヲトウレナ ガレル ヤウニ タルマモ ヒトモ

mf

オマワリサンノ テヲフルママニ ウゴイチハ トマリ トマツテハ

ウゴク コウソウ セイリハ クレレイナ

交通遊唱歌遊戯

(土川五郎振)

四六

アレアレ……………兩掌を前に向け斜左前に柔かに出す

アブナイ……………斜右前に全じくす

電車方チンチン……………右向兩脇を曲げ前臍を平らに前に出し掌を向き今せ脇を後ろ、上、上より前と前

臍を廻はしつゝ前進

自動車がブウブウアウ……………兩手を前にハンドルを握る如くし兩手を交互に出して廻はす如くして前進
自輔車がリンリンリン……………兩足を開き兩手にてハンドルを握る如くし右手を少し手前に引き左手を少

し前に伸す時左踵を上げて直ちに下ろす次に右手を引き左手を出す時右踵を上下す、かくするこ

と四回

前カラキタキタ……………兩手をあげ掌を前にして後退すること四歩

後カラ來タ來タ……………左後方を振り返りつ四歩駈足(足を後ろへはねつつ上體を前にかたむけて)

アブナイアブナイ……………正面を向き兩手を右から左へ伸ばし(掌左へ)直に右へかへして又左へ伸ばす、

此の時顔は左へ向け左足をあげては左へ伸ばしすること二回

キヲツケロ……………兩手を左より右へ足も右にて前と全じくす

アレアレアブナイ……………第一回 アブナイと全じ

コド……………右向をなし右足一步前兩手を前に

モガ……………左足をつけ兩手を後ろへ流す(左側にて)

クルクル……………全じことを繰返す

オチイサンガクルクル……………前と同じくして右側にてなす

オバアサンガクルクル……………(コドモガクル)と同じく左側にてなす

ミギカラキタキタ……………右の方へ顔を向け右手を右へのばし左手を左、上、右、下、左と廻はしつつ左

へ横足二歩

左カラキタキタ……………左へ顔を向け左手を左へのばし右手を右、下、左、上へと廻はしつつ右へ横足二

歩

アブナイアブナイキヲツケロ……………正しく右向をなしたるままにて兩手を右から左へ(左へ正面の方右

は背面トナル)足も同じく前の(アブナイ)と同じく右左にて二回づつ行ふ

間奏は其のまま

ストップストップブウゴイチヤイケナイ……………斜左前に兩手を前に掌を前に向け一度強く突き出し次に一

寸ちちめて又突出す、次に斜右手にて二回同じことをなす

ゴウゴウ……………正面を向き兩手を右、下、左、上、右と廻はす事二回

ヒダリヲ通レ……………兩手を右より下左へとゆるやかに動かし終りは左へ左手を伸ばす(掌下)一回

ナガレルヤウニ……………全生右向兩手を前生の肩に少し前にかゝみて八歩前進

タルマモヒトモ……………廻れ右をなし又八歩行進す

オマワリサンノ……………右向正面となり兩手を左右に開き足踏二回(掌前に)

手ヲフルママニ……………左手其のまま右食指にて右肩の上より後ろを指す様に振ること二回

ウゴイテハトマリ……………全生連手して前進

トマツテハウゴク……………同じく後退

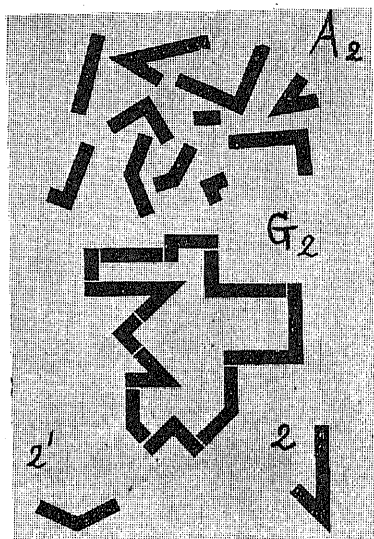
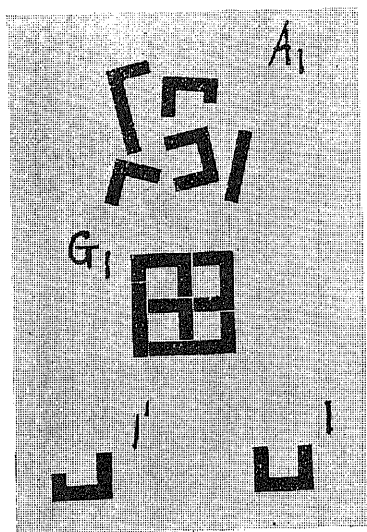
コウツウ……………全生連手のまま左足左へ右足をあげてとび

セイリハ……………右足右へ左足をあげてとぶ

ウレシイナ……………足踏しつつ拍手三回

幼児の抽出検査(二)

京都市保育會研究部



前回は報告致しました抽出検査(本誌二月號參照)の結果を繰返して申しますと。

(一)まとまつた形をもつたもの(G)から、その部分を抽出する方が、まとまつた形をもつて居ないもの(A)から抽出すより長い時間を要する。

(二)Gからその部分を抽出する所要時間と、(A)から抽出する所要時間との比は年令と共に増加する。之を言ひ換へますと、

(一)Gから抽出する方がAから抽出するより難しい。

私達はこのことを單に解答所要時間の上ばかりでなく、解答不能兒の數、不正解答兒の數、見直した幼兒の數の上でも證明し得たのでした。

(二)Gから抽出するのと、Aから抽出するのとの難しさの割合が年令と共に増加する。

更に換言すれば、年の幼い程、抽出する場合には、まとまつた形といふものに邪魔せられることが大きい、このことを解答所要時間の外に不正解答をした幼兒の數の上でも證明し得たのでした。

つまり本抽出検査の中心點は、Aといふ刺戟とGといふ刺戟との意識にとつての相異にあるのです。御覽の通りGは「まとまつた形」をもつて居ます。そして「まとまつた形」といふ全體的な性質はその部分(倒へば1. 1. 2. 2.)の中には全くありません。「まとまつた形」といふ性質は部分の性質の外に在る新しい全體的な性質即ち形態性です。所がAの方ではGのやうなまとまつた形がなく、Gの部分に相當する要素がばらばらにあるばかりです。それがために(一)のやうな結果になり、年令による相違を見ると(二)のやうな結果になるのです。

かやうに考へて見ますと、前回と異つてAやGの部分を夫々皆に色を變へて見ればどうなるか？ 各

部分を皆異つた色にすればGの場合には特にその部分一つ一つが目立つて来て前回のやうな黒一色の場合に較べて「まとまり」が少くなる、「まとまつた形」といふ全體の性質が弱くなる、こんな場合に抽出検査の結果はどうなるか? といふ問題が大層興味あることになつて來ます。

かやうな興味に惹かれて昨年十二月に三百十八人の幼児について検査を行いました。AとGとは勿論各部分一つ一つ異つた色に致しました(色紙を用ひて)1.¹1.²1.²は前と同様黒です。検査の方法は前回と全く同様ですが、今回は幼児の受檢の時の態度を委しく記載致しました、(之は只今は報告致しません)が或は他の機會に委しく報告することもあらうかと思ひます。一般に検査をします時にその時の受檢者の態度によつて注意する必要のあることは申す迄もありませんが)

上述三百十八人中、解答不能兒、その他検査中に他よりの妨害があつたものを除いて合計二百八十三人の結果について次に簡単に申し述べませう。

年令別には受檢月を中心として半才毎に處理致しましたが受檢兒の少いたためと各年令の幼児の數の不揃なために前回のやうに良い結果にはなつて居ません。五才と六才と二つに分けて見ましても、上述の(二)を充分に立證し得るやうな結果にはなつて居りませんが、左に表示致して置きます。

	5才	6才		
	A ₁	G ₁	A ₁	G ₁
□	2.93	6.69	2.77	4.85
□	4.07	4.58	3.93	4.32
平均	3.50	5.52	3.35	4.58
				4.15

	5才	6才		
	A ₂	G ₂	A ₂	G ₂
∟	4.20	7.68	4.13	7.57
>	10.61	8.36	7.69	7.80
平均	7.41	8.02	5.91	7.69
				7.08

(色を變へたために前回の結果と異つて來たことは、或は非常に面白いことゝ考へられます。子供の心にとつては色と形とはどちらが重要なものであるか—どちらに興味を惹かれるかといふ古くからの問題に關して面白いことでありますが、今は之以上に述べないことに致します)。

次に(一)の問題について申しますと、平均

不正解答兒數 } A 一四 %
 } G 一七 %

見直した幼兒の數 } A 三三 %
 } G 四一 %

解答所要時間 } A₁ 三、四〇秒
 } G₁ 四、九〇秒

} A₂ 六、三七秒
 } G₂ 七、七九秒

となつて居て矢張りGから抽出する方がAから抽出するより難しいことになつて居りますが、前回の結

果と較べて頂くとよく分るやうに、その差―難しさの差異―が少なくなつて居ります。之は明かにA、G各部分の色を一つ一つ變へたためであつて、そのために各部分が目立ち「まとまつた形」といふ全體的な性質が弱まつたのであると考へられます。

解答所要時間を委しく表示して見ますと次のやうになりますが、

	⌋	⌋	平均
A ₁	2.82	3.98	3.40
G ₁	5.41	4.40	4.90
平均	4.11	4.19	4.15

	∟	∟	平均
A ₂	4.15	8.59	6.37
G ₂	7.61	7.97	7.79
平均	5.88	8.28	7.08

ここに注目すべき結果が見られます。即ちA₁、G₁から「⌋」を抽出す時も「⌋」を抽出す時も、A₂、G₂から「∟」を抽出す時にも、その所要時間はGの方が大であるにも係らず、A₂、G₂から「∟」を抽出す時には反對にAから抽出す時の方が所要時間が大になつて居ます。之は∟の色が他のものに比して薄くて非常に刺戟が弱く印象が弱いからであると思へられることであつて、重要な事實であらうと思ひます。∟を抽出す時には不正解答見數についても

$\left. \begin{array}{l} A_2 \\ G_2 \end{array} \right\} \begin{array}{l} 31\% \\ 22\% \end{array}$

見直したものの数も

$\left. \begin{array}{l} A_2 \\ G_2 \end{array} \right\} \begin{array}{l} 54\% \\ 41\% \end{array}$

となつて居ます。

要するに本検査の結果については次のやうなことが言ひ得るやうに思はれます。

(一) G からその部分を抽出するのは A からその部分を抽出するより難しい。

(二) A G の各部分を一つ一つ異つた色にすると A から抽出する場合と G から抽出する場合との解答所要時間の差が、前回の如く A G の各部分が一色である場合より小さい、従つて前回の G より今度の G の方が、全體性が弱まり各部分が優勢になつて居る。

(三) A G の各部分の色が異つて居る場合に、非常に弱い刺戟の、弱い印象を與へる(色の薄い)色をもつた部分を抽出するには、G 即ちままとまつた形をもつて居ないものからより容易である。



童 話

黄金の花

水谷 年惠子

一本の草が、ずん／＼伸びて、葉っぱを何枚も着けました。葉っぱは一本の草の下の方から上の方まで、互ひ違ひに出て、皆で十枚の餘もありました。

何處から來たのか、毛虫が一匹草の根本へやつて來ました。毛虫は赤茶けた毛を體中に生やしてゐました。毛虫は草の一番下の葉っぱを食べ初めました。柔い葉っぱは、すぐに食べられてしまひました。

毛虫は少し上の方へ登つて、下から二番目の葉っぱを食べ初めました。草のてつぺんに出來た蕾が段々ふくらみました。毛虫は二番目の葉っぱを食べてしまふと、三番目の葉っぱを食べ、三番目の葉っぱを食べ、四番目の葉っぱを食べ、段々上の方へ登つて來ました。てつぺんの蕾が半分咲いて、黄金色の可愛いらしい花瓣のかたまりが、外を覗きました。



毛虫はもう十枚目の葉つばを食べてしまつて、黄金色の花のすぐ近くまで登つて來ました。青空がからりと晴れて、太陽の光が、さんくくと草を照しました。黄金色の花瓣は、すっかり開いて、太陽の光を浴びて、美しく輝きました。

毛虫が食べ残しの小さな葉つばを食べようとすると、空の彼方から、ちちつと飛んで來た鳥が、ちよいと毛虫をついばんで行つてしまひました。

黄金色の花は二花、三花と段々咲いて、どの花も、どの花も美しく輝きました。

入道雲とボン太郎

眞夏の陽が、かんく照りつけてゐる時でした。蜻蛉釣に行つたボン太郎は、ヤンマを追駈けて、小山のてつぺんまで駈上つてしまひました。

「あつ、ヤンマが、入道雲の中へ這入つちやつた。」

ボン太郎は青天井へによつきりと廣がつて、下界をにらまへてゐる大入道を見詰めて居りました。すると、眞白い大入道が、バチツとまたゝきをしました、ボン太郎はびつくりして、「わあーつ。」



とばかり逃出さうとすると、

「アツハハ……………」

と、大入道が大きな聲で笑ひ出しました。

ボン太郎は其の場で目を廻して、ひつくりかへつてしまひました。ボン太郎は藪竿を持つたまゝ、小山のてつぺんの草の中に倒れてゐました。段々陽がかげつて、涼しい風がそつと頬ぺたを撫でると、ボン太郎は正氣附いて、眼を開けました。

もう大入道は消えてしまつて、大空は夕焼の色で燃え立つてゐました。今咲いたばかりの月見草の花が、ボン太郎の體のまはりで、夕風にゆられてゐました。

「ボン太郎やーい。」

何處かで呼ぶ聲がしました。

「ボン太郎やーい。」

「ボン太郎やーい。」

呼び聲が、段々近づいて來ました。

ボン太郎は喜んで起き上らうとしましたが、起きられません。



「ボン太郎やーい。」

お父さんの聲がしました。

「ボン太郎やーい。」

お母さんの聲がしました。

「ボン太郎やーい。」

「ボン太郎やーい。」

すぐ其處で、お父さんの聲がします、お母さんの聲がします。けれどもボン太郎は咽喉がつまつて返事が出来ません。やつと右手に持つてゐる藪竿を上げて、動かして見せました。

「居た、ボン太郎が居た。」

「ボン太郎や、どうおしだえ。」

お父さんとお母さんが駈寄つて、ボン太郎を抱き起して呉れました。

ボン太郎は眼をバチクリさせて、ごくりと唾を吞込んで、

「大入道がにらめたよ。またたきしたよ。大きな聲で笑つたよ。」
と言ひました。



くちなし
さをり

作男の次太郎がお嫁さんを貰つて、小さな家を持つた頃、私は六つばかりのおかつばでありました。何かで牡丹餅を拵へた時、次太郎の所へは私がお使をして、お重を提げて行きました。次太郎のお嫁さんは、白い手拭を姉さまかぶりにして、鼻と口だけ見せて、

「ようおくりやあしたなも。」

と、やさしい聲で禮を言つて、からの重箱を返して呉れました。

次太郎の家を出ると、路の片側は村一番の物持の石垣が高く積み上げられて居り、片側は役場の使あるきをして居る源兵衛爺さんの家の生垣になつてゐました。檜葉か何かの、あまり高くない生垣の内側に、梔子の木があつて、赤く熟した實が、いゝ色艶をして、葉の間から覗いて居ました。

からの重箱を提げた私は、梔子の赤い實を見附けると、足を止めて動かなくなりました。あれで白絲が染められる。絲の一端を口にくはへて、他の端を左手でびんと張つて、梔子の實の切口で二三度絲をこする、すると白絲が立派に樺色に染まつてしまふ。染まつた絲で手



毬をかがる。かがつた手毬が眼に浮ぶと、手の屈きさうもない梔子の實が矢も楯もなく欲しくなつて、私は重箱を下に置いて、下駄を脱いで、生垣の根元の小高い土手に登りました。

生垣の檜葉を搔分けて、内側の梔子の枝を擽むと、赤い實の一つをもぎ取らうとあせりましたが、あせつても、あせつても、赤い實には手が届きません。届かないのを尙も取らうと、爪立て爪立て、伸上りに伸上つてもがきました。もがいて兩足を踏み直す度に、何やら氣持の悪い泥が、にちや／＼と兩足の指の間へねばり込みました。

どうしても赤い梔子の實は取れません。一つも取らずに生垣を離れた私は、恨めしさうに梔子の實をにらんで居りましたが、あきらめて歸ることにしました。ふと足先を見ると、泥ではなくて穢い物が左右の足の指にべと／＼とねばり着いてゐました。それが何であるかを知ると、俄に異様な臭が鼻を衝きました。

私はねばり着いてゐる穢い物を振落さうとして、足踏をして見ましたが、少しもとれず、益々氣持が悪くなつて、遂々泣き出してしまひました。源兵衛爺の家の婆さんが、「どうしやあなも。」

と言つて出て來ると、私は一層大きな聲をあげて泣き立てました。婆さんそれと氣が附くと、



「泣かんでもいいぞえも。」

と言つて、庭先へ連れて行つて、ざぶ／＼水をかけて洗つて呉れました。

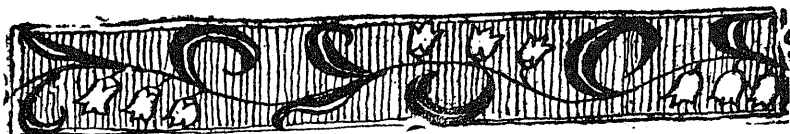
「さあ、下駄を穿きあせ。」

何時の間にか泣き止んだ私が下駄を穿くと、婆さんはからの重箱を提げて、私の手を引いて家まで送つて呉れました。

梔子の赤い實は來る秋毎にえも言はれぬ麗しい艶を見せて、源兵衛爺さんの生垣の間から覗いてゐました。私は其の赤い實に、いつも心を引かれましたが、決して取らうとはしませんでした。

せきれいや水裂けてどぶ石の上

鬼 城



保育作用の積極的方面

倉 橋 惣 三

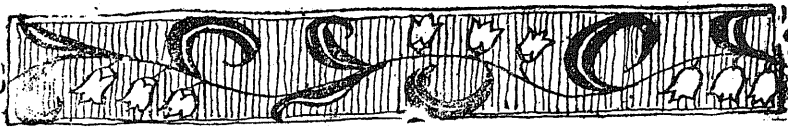
私が此の題目をえらみましたに就いて特に御注意を願はねばならぬ點は、之れからお話することが、保育作用の積極的方面といふのでありまして、保育そのものゝ積極的方面と云ふのではないことであります。之は保育の積極的方面といふことが其の事として意味をなさぬのではなく、保育は元より積極的なものであるから特にこんな問題は起らないのです。其處に誤解があると根本的に誤謬を生じます。保育は云ふまでもなく教育で、教育は勿論積極的なものであるからそれを特に云ふ必要がない。若し世に誤解あり教育は積極的、保育は消極的といふ様な考へ、又はそれと誤り易き考へがあるとすれば、それは大きな間違であります。これまで教育に、子供に對する無理な傾向があつたので、その反動の形で教育は兒童の自然の發展を尊重するから、餘計な干渉を加へたり、大人が餘り持ちかけたりするのはよくないと云ふことは、所謂新しい教育論の起つて來た理由に相違ないのですが、それだからといつ



て、元來教育そのもの持つ積極性が一厘一毛でも緩む由はない。新しい教育の歴史に溯れば誰でもルソーを云ひます。ルソーの「エミール」を讀むと誰れでも愉快を感じ快哉を叫びますが、それは何處にあるかを分解すれば、古い教育の世界が子供に無暗に干涉することを意識的或ひは無意識に不満としてゐた反動であつて、その爲に非常に解放された氣持がするのです。しかも從來の教育が往々子供の自由を束縛することに對し何人も不満足を感じながら、それを徹底して考へなかつたのは何處に理由があるのかを考へて見れば、或はその人が問題を溯つて見つめる力がないからか、考察の努力が足りなかつたといふことにもよりましやうが、併しそつといふ點を除いて考へれば、つまり從來の教育作用が作用として餘り干涉しすぎてゐたので、それに不満不快を感じてゐたのであります。

ところが、斯うした惑ひを持ちルソーに向ふ時、その快哉の結果は滑べり出した雪のなだれが止めどもなく滑り落ちる様に、教育作用の消極性から教育の本質の積極性までをも引き下げて快哉としたりします。しかしながら、もつと本當に「エミール」を讀めば、教育そのもの、本質としての積極性を決して否定して居ない事が分ります。

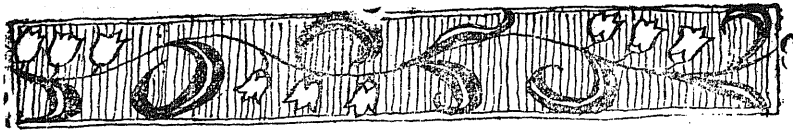
さて、小學校以上になると、教育の積極性が強く吾人を動かすから甚だしくそれを見落す



事はありませぬが、幼稚園教育では往々危険が起つたりします。即ち小學校教育は作用の消極性を承認しても、教育そのものを消極的と考へる人はない。しかし幼児教育ではそこがややふやであります。作用の消極性を是認することから、づるづるに本質の積極性まで見失ふものが、事實として必ずしも少なくないのであります。

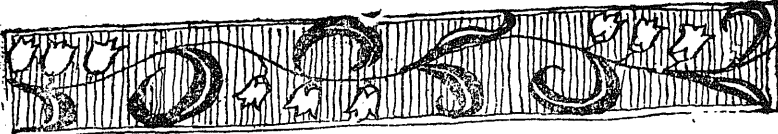
之に就いては、何故小學校と幼稚園に於て同じ教育でありながら、斯うした違ひが起るかを更に進んで考へねばなりません。その理由に二つあり。一は小學校教育では教育目的が色々な形で余程明つきりして居ります。或ははつきりし過ぎる位、大極に於ても部分に於いても確立してゐるので教育目的が頭に響いて來るから作用がそんなに消極的にはならない。それにくらべて、幼稚園では教育目的が大まかであるから前述べた様な誤謬が起るのだと考へられます。

これが是認されたとして、次につきつめねばなぬのは、教育目的が大まかにあることは何に基づくか、此處に既に消極的な本質があるとするれば保育の本質も亦消極的となるのですが、保育の目的は決していゝ加減あいまいなものではありませぬ。五厘霧中のやうなものではありませぬ、しかも大まかと感じられるのは何故かといふに、小學校では子供の生活自體と教

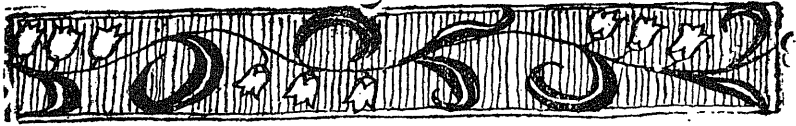


育とが大分離れる性質になつてゐるから、子供の生活自體、人間の生活それ自身、即ち人生の目的それ自身と多少區分し、細かく分れることになりませんが、幼稚園では人生の目的さながらを以て目的と致しますから、幼児に要求してゐることは積極的でありませんが、教育目的として、はつきりしないだけのことだと私は解釋して居ります。兎に角斯う云ふ具合に考へる時に、幼稚園の教育目的は、教育目的の形でこそ甚だしくはつきりしては居ないが、目的のバックとしては決して小學校教育に比べて何等消極性といふ様な腰の弱いものではありません。小學校教育は實に積極的なもので、幼稚園教育は非積極的即ち、どうでもいゝ様なものだとなれば、皆様は決して承知出来るものではない。

然しながら此の積極的な保育といふことの目的を實現するために、作用も必ず積極的でなければならぬかと云ふに、そうとも限りませぬ。例へば他人に對しての親切好意は人間的態度として積極的なものですが、その好意を持つ時、必ずしも積極的に出るばかりとは限らない。常に傍からおせつかいばかりする譯ではない。非常な親切、好意から、わざと打つちやつておき、爲すがまゝに任せる事もある。それで保育作用としては必ずしも積極的なものに限りませぬ。



こゝで幼稚園の歴史を見ますと、作用として余り積極的であつた事に（保育の誤りでなく作用の）誤りがあつた。更に突つ込んで皮肉な考察をすれば、作用も積極的な事を敢へてしたといふ事のみならず、保育そのものの積極性を十分持つてゐないために、却つて作用として積極的となつたのではないかと云へます。之れは我々日常生活にも往々ある事で、心の缺けてゐる時に外への仕方が却つて積極的になることは、屢々経験する所です。保育の熱心から作用が積極的となつただけでも悪い事だが、更に保育本質そのものにある或るうつろから作用だけ積極的になつたのでは、誠に憂慮すべき事であります。それで大體の根本として、ものの眞實に着かうとする近世教育は、作用としての故意な積極性に眉をひそめて來たしたのです。今日の新しい教育論は教育方法の問題で、或は兒童の心理に基いた所にあると申して居りますが、私は決してそれ丈ではない、相手の研究に由つて生じて來たといふよりは教育自身の眞實を發揮せんとするものであると思ふ。現代は昔の形式主義に比べて生活主義を存分に充實させて行かうとすると見るものであります。昔は作用の積極性でごま化して行く暢氣な時代であつたかも知れぬが、現代は形式的の充實主義は自分自身に氣恥づかしくなつて來たのです。今の教育の一傾向が消極主義、自由解放的なのは何に基因するか。多くの人は言

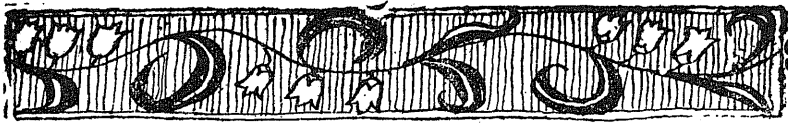


ふ「何うも此の頃の若い人は横着で、「不精で！」と。これでは簡單すぎて問題にならない。彼等は自分の保育に對する本質の積極性を見つめて居るが、それ以上の積極性を取る事が自分に對して氣恥づかしいので作用としての積極性を避けてゐるのだと良解される所がある。ところでこれは眞實に類することではありませんが、弱い意氣地のない眞實だと思ひます。十分の敬意を拂ふことは出来ない、この人々は保育の積極性を十分養ふことが必要と考へられる。それを十分に持つことから出る消極作用でこそ、始めて意義を持つのです。この事はこの講義の本論ではなく、疾くに、分つて居るべき事ではありますが、今度の如く積極的方面などと云ふ時、言葉を用ひましたに就て、念の爲一度明かにして置く譯です。

これをお断りしておきまして、偕て、保育作用の積極的方面、消極的方面はどこに違ひがあるのかを申述べ度い。

○

一體、消極的、積極的といふ事は概念としての對立であつて、實際の中に別個に分れて居るものでない。そこでも一度御注意を促し度いのは方面といふ字であります。何處の幼稚園は積極的、どこの幼稚園は消極的とはつきり分れるものではない、例へば自由といふ言葉は



新幼稚園の通り言葉でありますが、一體何でありますか。この語自身が積極、積極の二方面を持つて居ります、なるべく子供を自由にさせて置くといふ事が、若し、子供に及ぼす凡べての影響から切り放すこととすれば、それは消極的に解釋してゐるのであります。即ち若しも我々が子どもに自由を與へると稱して、不自由から解くことだけならば消極的なものです。但、その消極的方面、波して無用ではありませぬ。教育學の極く箱單な本にもある如く、子どもの發達を妨げてゐる様な環境それを取り除いてやるのも大きな教育の任務であります。石にひしがれた草の芽が伸びられないで居る、本來の成長を妨害されて居る。これが現在の兒童生活の中にある状態とすれば、矢張り私達は、それを取り除くことに力をいたさなければなりません。

然しながら單にこれだけで終つて居るなら消極的效果のみで積極的效果が現れぬ、惜い事でありませぬ。幼稚園生活で子供を束縛から解放する他に、幼稚園に來る事によつて生活全體の積極的發展が與へられなければ、保育の目的を充分に達したとは云へませぬ。

(以上は今夏文部省講習に於ける倉橋氏の講演の序論の大要筆記であります。文責在記者)

九月及び十月の幼児生活

東京府女師附屬幼稚園

ト 部 た み

私の生活記録も幼一の組(年少組)の分は昨年九月から丁度一ケ年になりまして此の七月ですみました。年長組即ち幼二の組の昭和二年度の分を引續き記させていたゞきませう。

各月の生活即ち主要材料として書き出しました項目は、殆ど以前のを御参照下されば變りませんが、御便宜上やはりこゝにも記す事に致します。

九月の主材

○夏休後の顔合せ會

○夏休中のおみやげ展覧會

(休中の採集物、手技等、なほ母親其他の人の保育記録製作品も含む。)

○夏休中のお話 記憶畫其他

○水遊び、色々の遊び、花壇の手入、飼育動物の世話、雜草刈り等

○九月生れ誕生會

○氏神の祭禮

○戶外保育(秋の田園、秋の日和、秋の草花、虫類、渡鳥等)

○其他秋について(二十十日、二十二十日の事、虫干、彼岸、月見、衣服、帽子、傘、町の變化等。)

十月の主材

○遠足、散歩、(秋の戶外保育)

○花壇の手入、飼育動物の世話

○木の葉遊び、其の他(落葉、落花拾ひ)

○十月生れの誕生會

○運動會(遊戯練習會)

○東京子さん初め多くの渡米人形送別(是は本年度特別にあらはれたもの)

○秋についで

更衣、町の變化(草花屋、果物屋、八百屋店其他)

秋の庭(種々の草花、果物、木々の紅葉、

霜よけ準備等)

秋の田園(稻刈り、鳴子、案山子、)

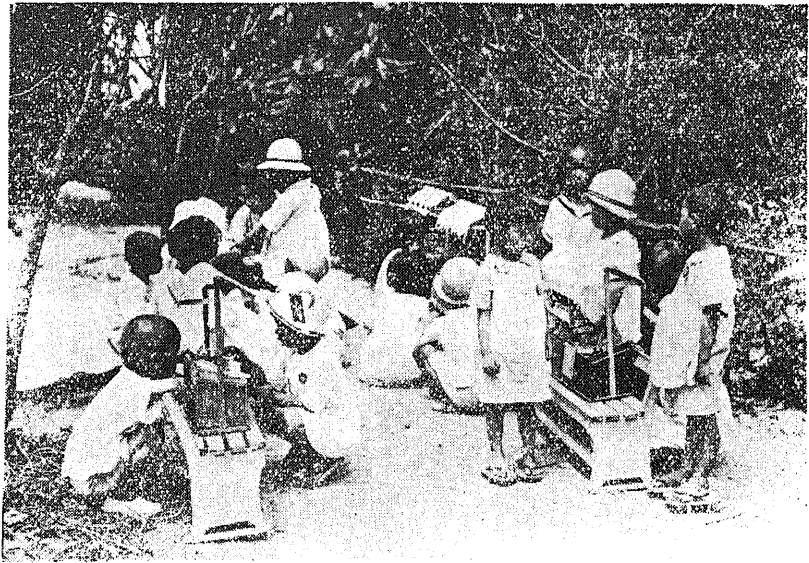
秋の日和、雨、虫類、鳥類、其他

曜 遅	第 一	第 二	第 三
1	<p>始業式<small>(式)</small> 小学校庭 震災記念式 式後ピアノをきく又唱歌 遊戯をして遊ぶ。 各室に入り休中の遊んだこ と、病氣の有無其他話合つ て歸宅につく。</p>	<p>自由遊び<small>(休中のお土産をもちよる。)</small> そこに各自の休中の話も出 る。 休後のお集り、學期始めの 會。 一年と合同して八時三十分 より始む。休中のお話 み、本よみ、唱歌、遊戯等</p>	<p>雨あがりの庭に遊ぶ。 <small>(觀察)</small> 休前と比較して草花梨桃の 實の成長をみる。 夕リヤ、日まはり、百日草 ほうづき、朝顔、梨、桃等 雜草抜き、蟲とり 休中の繪、手紙其他をもち より話あふ。 おみやげ話、唱歌、遊戯</p>
2	<p>自由遊び お月見の仕度 紙、粘土、等により果物 おそなへもの等作りにか ゝる。 身體検査 談話<small>(お友達)</small> 唱歌、遊<small>(汽車、月夜の兎、其他)</small></p>	<p>自由遊び 秋の雨の降りつゞくため雨 に關する繪多し、傘、マン ト、下駄等をつくるもの り、引續いてお月見の仕度 に入る。 談話<small>(氏神祭禮について)</small> 遊戯<small>(リトルロビンレッド アレックス(小さい駒鳥) 其他練習)</small></p>	<p>自由遊び お月見のかざり、 實物及幼兒製作の果物、野 菜等膳<small>(そなへ、薄、秋草 をかざり、)</small> 觀察<small>(繪、其他、)</small> 談話<small>(鬼瓦、月の井戸、唱、 遊、月夜の兎其他)</small> 内親王御降誕に就ての訓話 萬歳三唱</p>
3	<p>自由遊び 八月月生れ誕生會の仕度 粘紙、キビガラ、木の葉 折紙其他の材料による 觀察<small>(寄宿舍、庭)</small> 蟻、袋蜘蛛、バッタ、こ うろぎ、蜻蛉、蟬、蛙) 唱歌<small>(ジャンケンボン其他)</small> 鈴蟲、</p>	<p>自由遊び 誕生會の仕度つゞき 贈り物作り 本讀その材料えらび、幼兒 唱歌、遊戯の練習 プロگرام作り 花壇の手入れ、砂場の掃除 水まき、ボートレースごつ こ、笹舟作り、シヤボン玉</p>	<p>自由遊び 誕生會仕度 八、九月月生れ誕生會 挨拶、答禮、贈物進呈、手枝) 談話本よみ、遊戯、お話遊 び、樂隊等 蜻蛉追ひ、リレー 巾とび、草とり</p>
4	<p>自由遊び 草とりからまゝごと始まる 積木の車は停車場作りか 積木電車と汽車の交通は 省線電車と汽車の交通は 今日から楽しいお辨當はじ ま。手技、折紙、バツタ、う ち字及砂場 觀念調査</p>	<p>自由遊び 談話<small>(赤ん坊爺さん)</small> 繪に内容發表 小学校庭に於て運動 輸くり、リレー、ボール送 り、ボール投げ、幅とび、助 木のぼり、笹の舟、汽車、駒 鳥、じゃんけんぼん、シヤ ボン玉、月夜の兎等 自由遊び、文字の調査)</p>	<p>上野動物園行 本校門前より電車一仲町一 東照宮下一動物園</p>

六 第	五 第	四 第	曜 週
<p>自由遊び （お月見の仕度の手技引續き行はれる。） 室内の装飾大部分出来る。 小學校に於ける休中製作品 其他の展覽會を觀る。</p>	<p>自由遊び 談話續いて繪に入る （汽車、海岸等の繪多し） 遊戯（小さい汽車復習） 唱歌（汽車）新授 其他練習 お月見に就ての話 お月見の仕度に入る（手技）</p>	<p>自由遊び フランコ、二り臺 其他遊具 を使ふもの賑はふ。 花壇の手入れ、雑草ぬき、 水遊び、水蓮、浮草、金魚 等（觀察） 休中の製作品展覽會に出品 （お月見） 休中のお話つゞき</p>	1
<p>自由遊び 歸途高師校庭に遊ぶ。 （山、池、金魚、蟲類、草花其 他の觀察）</p>	<p>自由遊び 蟬とり、蜻蛉おひ、ジャンケ ン飛び、ジャンケン取り 唱歌 ジャンケンゴン（新授） 遊戯 （駒鳥、其他） 展覽會を觀る 室に歸つて繪ごかく</p>	<p>自由遊び 久堅御祭禮の町の觀察 手技 提灯、まんどん、おみこし 作り 談話（ゆふべのお月見の話） 保姆幼兒（お月見の繪） 繪をならべ各自に説明しあ ふ。 水まき、水遊び</p>	2
<p>自由遊び 家作りのつゞき 木、馬、道路、電車線路等も 出来て町が出来上る 一の組より町の見物に来る 龍山校長離任式に列す。後、 唱歌、遊戯練習</p>	<p>自由遊び 昨日に引續いて家造り盛ん にする。木車、電車、自動 車作りに迄入る 談話（汽車、電車と自動車） 草とり、水まき 朝顔の種とり、風鈴や、金 魚や草花やごっこに入る 文字及數觀念調査</p>	<p>觀察 校庭一本校庭一門前一寄宿 舎の庭一銀杏一傳通院 繪より續いて切紙、貼紙、 キビガラ、紙テープ等によ つて家造りをむすむ。 唱歌（節蟲、新授、じゃんけ んぼん其他練習） 遊戯（汽車、駒鳥、其他） 文字調査</p>	3
<p>自由遊び 動物園ごっこ 動物園のとりかたづけ 談話（夏休み後と其以前の 思い出） 雷、少立、汗、海水浴、雨ふり 種々の草花、遊び、毎日のカ レンダリ等により夏と秋、 秋の話、九月の終る事を知 らしむ。唱歌、じゃんけん、鈴 蟲其他第一期教生告別式</p>	<p>自由あそび 動物園ごっこに入る、幼兒 保姆、合同して動物園をかざ る。砂場、運動場、保育室 全部をつかつかつて動物園ご っこが始まる。切符作り、各 り、始めの組は多くお客 自定め符切りの案内人等 様として来る。後、第二部 ぞみ談話點數獨唱發聲第二部 きくスキップ其他の練習</p>	<p>自由遊び 動物園のはなし 記憶畫、動物作り（紙、粘土、 象、カキ、やく、ライオン、 象、深いらしい。白熊等最も印 象深いらしい。けるものあり 午後裏にてどんぐり、桐の 實等拾つてまじごとをなす 唱、遊戯、練習</p>	4

曜 週	第 一	第 二	第 三
1	<p>朝小學校に集り新教生紹介式、楽器に合せて歩き方練習、曲の止る毎に二人宛たり三人宛かたまる遊び、曲にとりあはせてボール探し等、あはせて池の水がへ、服装、談話(十月になつた)、銀杏寺に散歩、紙に貼り、銀杏の落葉拾ひ、紙に貼り、景色の合作。</p>	<p>自由遊び 談話(鳥のやぎ) 手技(右の内容を自由に繪に發表) 鳥のやぎにより子供、猿、羊等の問答をなしお話遊びに入る準備とす 遊戯、唱歌、練習</p>	<p>自由遊び お話をあそび、鳥のやぎの續きをして遊ぶ。子供兎等を漸層的に問答加はるを喜ぶ。そのうち数人宛出て立體的に遊びはじむ。 ピアノや蓄音器をき、幼児の樂隊に合せて一同遊戯練習をす。 繪 觀察(本校門前及庭)</p>
2	<p>日曜生活満足の話 發表(談話、繪) 第三部(尋五、六、高一、二)の運動練習會を觀る 遊戯練習 キンダム、胸鳥、クラツアダムス、シヤボン玉、ホッパマン、アーンボン、鈴蟲、じやんけん、ばん、其他</p>	<p>自由あそび 竹早町公設市場に八百屋もの果物をみる 果物屋さんごっこ始む 風鈴や、蟲や、金魚屋も混るその間に手技、粘土、切紙等唱歌、遊戯、藝技練習</p>	<p>第一部(尋一、幼一、二)遊戯練習會 談話 お月見の話、續いて仕度に入り柿、栗、梨其他昨日製作の果物をかざり、薄、秋草を窓傍にそなへる。</p>
3	<p>自由遊び 昨日、児童生活展覽會に遊んだ事につき自由體に幼兒の談話(數人、昨日雨の多から自動車遊びに入る。明日迄に自動車に關する繪、玩具、蒐集の約束を送り、走り幅飛、リレー、旋</p>	<p>自由遊び 自動車、玩具、繪本、カマロ、新開、廣告等凡て持ちよる。保育室にかざる自動車に關する話、文章朗讀、幼兒の發表、話、自由畫、自動車の種類の研究名前の研究 本校門通り、傳通院通りに出で觀察</p>	<p>昨日の自動車展覽會つゞき各自由の乗客車、箱、競、各自の好む車をかく。切抜いて立て、遊ぶ。キヤラメル其他の空箱を利用して作る。 唱歌、遊戯、積木を自動車に利用して遊ぶ。 落葉ひろひ、どんぐり拾ひ(こま作り)、笹舟作り。</p>
4	<p>日曜生活發表 菊見の話(菊の觀察、繪、菊全兒是が製作)に餘念なく二人形、渡米の話より着せかへ人形、遊戯、樂隊、練習唱歌、遊戯、樂隊、練習 運動會にすべきスカンジナピヤマーチの練習</p>	<p>自由遊び 菊皿作りのつゞき昨日の菊皿を六枚宛綴り合はせ、す玉を作る、その下に麥藁折紙等にてふさを作りにするして喜ぶ。 談話(日米親善人形のこと)、東京十外多くのお人形の話 繪、人形の繪、三越、松坂屋等の店頭の人形をかく</p>	<p>自由遊び(菊皿作りつゞき)昨日に續き米國の少女へ贈物せんと手技をはじむ繪、細工物、手紙等) 唱歌、遊戯練習、特に運動會當日にする遊戯及びスカンジナビヤマーチ練習</p>

曜 週	第 四	第 五	第 六
1	<p>自由遊び 談話(日本一の飛行機) 手技(主に飛行機に關する折紙摺紙切紙等) 唱歌、遊戯、飛行機、鈴蟲、其他) 鳥のやぎのお話あそび續き 明日所澤飛行場へ遠足について話</p>	<p>遠足(尋一と合同) 所澤(陸軍飛行學校) 飛行場秋の軍隊生活 田園其他</p>	<p>昨日の記憶畫、 談話、 手技(飛行機作り) 飛行機ごっこ 唱歌、遊戯 (飛行機其他練習)</p>
2	<p>昨日のお月見の話、繪等 お話遊び(鳥のやぎ) 交る(行ひ後ヒルの積木にて鳥道、垣根等をつくつて遊ぶ。 兎、狼、羊、狐、蜂、山羊、子供を表現する冠作り、各自好むものより入る。 但し程度により塗繪の線書様のものをあたる。 唱歌、遊戯練習</p>	<p>自由あそび 昨日の冠作り續き 手技) 出来上つたものはそれをつけてお話遊びをなす 同時に、桃太郎、熊のお家砂場、幅とび、相撲ごっこ だるま送り、遊戯練習等</p>	<p>自由遊び、切紙、折紙、まじごとの祝場、積木、午後より上野の兒童生活展覽會へ遊びにいくとて一同大喜びして次の練習をなす。お話遊び(桃太郎) 遊戯、クラツプゲーム、お花) 遊戯、クラツプゲーム、ヒイン、ガードダンス、リトルロビン、レンドアレス其他。樂隊 オモチャノママチ、結んで開いて、夕やけ雀の學校、靴がなる等</p>
3	<p>自由遊び、自動車作り續き 幼兒發表の名稱(シトロエン、ナツクス、エシボレー、エセックス、アースキン、モウリス、スタア、圓たく圓太郎、トラツク、乗合等各自製作のものを並べて或は走らせて遊ぶ。 談話(飛行カバン、及び繪幼兒の發表、及ぶ繪小鳥が二羽死んだため幼兒手厚く埋葬し墓作り柵作り</p>	<p>植物園行</p>	<p>校庭へ寄宿の庭 蟻の生活觀察、蜘蛛の卵、孵化した蜘蛛の觀察等 落葉拾ひ昨日のもの等と合はせて自由製作、(合同製作) 家、人、軍艦、人形、景色、蝶々、廢物等 遊戯(鈴蟲) 新授 其他練習 動物のまね(とび方)リレー</p>
4	<p>自由遊び。 散歩、本校庭へ門前へ江戸川へリ、午天神へ傳通院! 歸園 運動會の準備 裝飾用及び應接用の旗作り、各幼兒のもつ旗は自由製作) 運動會當日の遊戯競技練習</p>	<p>談話(米國へいく人形の旅行)送別をすること、 唱歌、遊戯、贈物を差上げると同じにおおくりの心持で遊ぶ事) 午後第五高女平和館に開催の送別會に一同出席) 運動會當日使用の旗作り、(日の丸の練習に塗繪)</p>	<p>運動豫行演習 (於附屬校庭)</p>



暑さの午後

愛媛縣今治市 今治昭安幼稚園主

田 坂 雪

誰か多く知る風光明媚の瀬戸内海を前にひかへ四時惠まれし自然中に育つ幼児達、海に近き地には申しながら南國の初夏はことに園児達の上に煩を多く持つ、盛夏のそれよりも一層に幼き身に堪え難き午後、おもひ〜に涼しき場所にその樂しき時を過す、夕涼に引かれ行くそゝるあるきの夜店の賑、夜店の買物それは幼き胸の甘い〜想でせう。

暑くなれば始まる田舎の夜店、園内にもその空気で滿されて來る、玩具屋、呉服屋、八百屋、お菓子屋、蟲賣り屋、シャボンダマ屋さん、小間物屋それ〜の店先に海水浴の御仕度に、中元の贈物の買物、いく回もいく回も蟹の子やバツタを買ひ求めに行く男の子。

お菓子店にばかり行く女の子明日の仕度に出かける小さいお母さんは八百屋の店先に、よく品切れのシャボンダマ屋さん。こんなグループより離れて讀み手役を競ふ園の兄様達も日本家に入ればさすがの亂れ勝な御行儀も靜かに圓く集まるカルタ取り『ヘンナアシツキピヨントラウ』と必ず誰にも許さぬ得意の誰子さん。

こうした事に南國の暑さも打ち忘れ庭の一隅に室の一隅に楽しい遊びは開かれて行きます。



下段は創立記念日
 の園主よりの粗食
 提出の吉例
 絶え間なき園内の
 果物に腹つゞみ打
 その笑顔
 卜部先生の御敬
 示の一節中『食事
 による特別なしつ
 け……』
 クリスマス舊年末
 忘年会不時に園主
 よりのお八つ提出
 等にて度々の共に
 する食事は公立園
 に見難たき家庭的
 な空気を造り出し
 て行く
 そこに何とも云へ
 ぬ親しみとなつか
 しみは質朴な田舎
 の幼児に、家庭の
 上に、大きい期待
 を持たせて行きま
 す。





うす泥棒

金子彦二郎

それは、うつとうしく降りつゞいた梅雨まがひの雨が霽れあがつた初秋の一夜でした。

空気中のごみといふごみがすつかり拂ひきよめられた空は、澄んだ藍色のビロード張りのやうに見え、そこにはお日様の忘れ形見である星の子たちが、かはいゝ腫をかどやかしながら、無言のほゝろみを交し合つてゐました。庭の面には、昨日今日やうく咲き初めた白萩が、ほの明るい星のともしびの下に、さらさらゆらいでゐます。スイツ・チョンくく

と馬追虫が、道草食はうとする馬を叱る馬方の舌打そつくりな聲で唄ひつゞけてゐます。

縁端から脚をぶらさげて、ふらふら振りながら、其足指でそこにうづくまつてゐるボチの耳先をつまんでは興がつてゐた日出夫さんは、馬追虫の獨唱が一段すむと、思ひついたやうに、側の小父さんを顧みて、

「小父さん、また面白いお話をきかせて……」
と言ひました。小父さんは日出夫さんから、斯う言はれるとどうしても厭だと斷りきれないので、それほど此の日出夫さんを愛して



おました。それで早速「よし〜」と引きうけてこんなお話をはじめました。

二

昔、あるところにお釜を盗まれたものがあつたとさ。ところで其の盗んだ者は近所に住んでゐる甍だといふ噂がたつたので、其の家へ行つて見ると、なアるほど、其の家の臺所にちやんと其のお釜があるぢやないか。それで其の盗まれた男が、眞赤になつて怒つて、「太い奴だ、この泥棒め。さあ、すなほに返せ。」

と言つて持ち歸らうとすると、

「これ何をする。このお釜は先祖傳來の私の家のお釜だ。この私を泥棒呼ばはりにして持つていかうするお前の方こそ泥棒だ、悪黨だ。」

とあべこべに怒鳴りつけて、どうしても返さうとはしません。それでね、ぢか談判ではとても埒が明かないことが分つたので、盗まれた人からたうとうお役所へ訴へ出たのさ。

中納言兼光公といふえらいお役人が捨ておけないので、二人を呼び出して厳しく取調べることになつたんだよ。で先づ盗まれた方の云ひ分を尋ねると、

「このお釜は、毎日私が使つてゐた品で、それを私の留守にこの甍めが盗んでいつたに相違ございません。」

と申立てた。すると、甍は甍で

「恐れながら申し上げます。御覽の通り、私はこのやうな足腰の立たない不具者で、兩手に下駄をはかせて、やつと體一つを運んでゐる者でございます。それがどうしてお



釜のやうな重い物を盗んで持つて行かれませう。此の黠を、どうぞよく御察し下さいませ。此のお釜は先祖代々私のうちに傳つてゐたものに毛頭相違ございませぬ。それなのに、此の私が盗んだなどと讒言するとは、あんまり物の分らない仕方と申さねばなりません。さういふ悪者こそ、牢屋へでもぶちこんでうんと厳しく懲らしてやつて下さいませ。この通り、頭を地にすりつけてお願い申上げます。」

と、如何にも口惜しさうに、涙まで流してくどくどと申立てます。

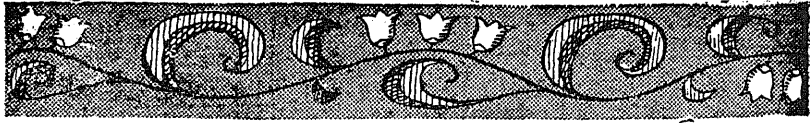
これにほ名判官中納言兼光公も、すつかり迷つておしまひになつたんだよ。「烏の雌、雄は誰にも見分がつかん。」といふ諺があるが、兼光公も丁度そんなもので、どちらの申立に

も理窟があつて、暫くは決しかねて、目をひつて考へ込んでいらつしやいましたが、流石は鬼と呼ばれてゐた名判官兼光公だ。すつかりよい腹案が胸中に出來あがつたと見えて靜かに目をあけると、じろりと稻妻のやうな鋭い視線を平伏してゐる甍の方に向けてから前と打つて變つたお優しい聲で、

「これ、甍、どうもお前の申立の方が筋道がたつてゐるやうだ。そのお釜にはうつたへ出た男の名前でも彫りつけてあれば格別こりやお前の物に違ひなからう。安心してさあ〜さつさと持歸つたがよからうぞ。」

とお申し渡しになつたのさ。納らないのは盗まれた男の方、

「お役人さま、そ、そんな無茶なお裁判があるもんですか、甍が何と申上げませうと



も、その釜は私の……………」

とわめきたててゐる。

「これ〜、控へろ〜。控へろと申すに。」
とおごそかにたしなめていらつしやる兼光公の聲を小氣味よささうに聞き流しながら、壁は「ありがたい〜。どりや、然らば引きさがるとしようか。」

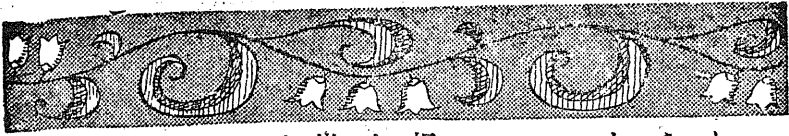
と、また二三度ペコ〜とお辭儀をしてから、「どつこいしよ。」とかけ聲しながら其のお釜を頭にかぶつて……………」

小父さんのお話が、この邊まで來ると、さつきから相變らずぶらさげた脚の先でポチにからかいながらおとなしく聞いてゐた日出夫さんは、足もとのポチが飛びあがり、小父さんもびつくりするほど大きな、さうして重々しい口ぶりで、

「こら待て、ゐざり。釜ぬす人は其の方にきまつたぞ。」

と怒鳴りつけて、アハハハ…………と大笑ひしました。

「なアーんだ。日出夫も、このお話を知つてゐたのか。人が悪いなあ。知らん顔をして、私におしまひまで骨折らせてしゃべらせるなんて。だが、今の事こら待てゐざり……………」は上出來だつたぞ。いや、もうすんでにお耳がとんぼがへりするところだつたよ。……………ようし、それぢや、今度は名譽恢復のため、搗きたての餅のやうな新鮮で、柔くて、面白いお話をしてあげようか。…「なに、また徹が生えたお話ぢやないかつて? どうして〜、だつてほら、ついさきがた讀んだ夕刊に出てゐた珍談なんだ



もの……いいかえ。」

と、かう言つた小父さんは、日出夫が大きくなづいたのを見て、次のやうに語り出しました。

三

時は昭和三年といふ御大禮の行はれようといふお目出たい年のこと、場所は東京市外の板橋町。初夏の或朝のこと。餅屋の吉川爲吉さんは、今日も朝の四時頃から跳ね起きて仕掛けた蒸籠の餅米がすつかり蒸しあがつたので、午前七時ころ

「やれ、また一臼搗きませうか。

月の世界の兎ちゃんに。

負けてはならぬべつたんこ。

べつたら、べつたら、べつたんこ。

あいしいお餅を搗きませう。」

などと口から出任せの童謡を小聲でうたひながら、ねぢ鉢巻をきりつと結んで、いつも店頭の隅に寝かせてある臼と杵の支度にと出て行きました。

が、まもなく「べつたら、べつたら……」

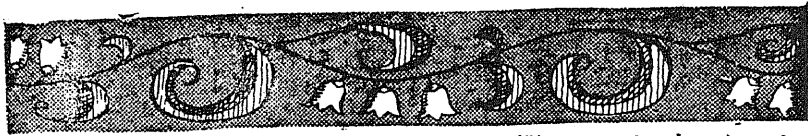
といふ童謡の節が、

「やつ、こりや變だぞ！ 臼が無い！」

と言ふ頓驚な叫び聲にかはりました。この爲吉さんの叫び聲で奥から走り出て來た内儀さんから小僧までみんな店頭や背戸から露路まで残る限なく探し廻りましたが、どうにもかうにも行方が知れません。

「昨夜戸締りをする時、たしかに何時ものやうに此所にあつたんだが、不思議なこともあるもの……」

と爲吉さんは、腕組をし直して見たり、解い



て見たりして考へ込んでゐましたが、どうにも合點がゆかない。何はともあれ、大事なく、商賣道具がなくなつては、第一もう蒸し上つてゐる蒸籠の中の餅米の始末にも困る。

で早速、それは餘所から借りて来て、一時、間に合せることとして、其の仕事のかたがついてしまふと早速警察署へ訴へ出ました。

お巡りさん達も、その訴をきいたときには、「盗む品物もあらうものを、あんな大きな餅搗臼を盗んでいつてどうしようと言ふんだらう。第一運んでいきやうがないぢやないか。誰かが悪戯をして、どこかに隠してましたんぢやないかな。」

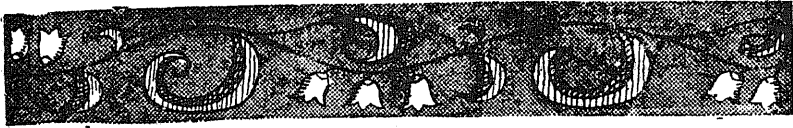
と言つて笑つてゐましたが、爲吉さんの申立てで、どうでも泥棒の仕業に違ひないといふ見極めがついたので、それにしてもあんな嵩

ばつた重いものを、大鐘をひきずつていつた辨慶のやうな力持でない限り、さうく遠くへ運べる筈もなからうといふので、數人のお巡りさんが、手分けして、町内を

「迷い子の迷い子の餅つき臼やあい。く。く。」と探し廻りました。

すると其の日の午後三時ごろ、一人のお巡りさんが、爲吉さんの家から三四町はなれた或家の軒下に、それかと思はれる臼が一つ据ゑてあり、さうして其の上には病身らしい一人の男が腰かけて、へんな目つきであたりをじろじろ見廻して居るのを發見しました。

で、これが盗まれた臼に違ひないと見當をつけたお巡りさんは、「一寸取り調べたいことがあるから一緒に來るやうに」と言つて、其の男を臼と一緒に警察に連れ寄せました。



x

やがて署長さんが、其の男を一室へ連れて
いつていろいろと尋ねて見ました。

「お前だらう、あの白を盗んでいつたのは？
素直に白状せよ。」

と言ふ問ひに、其の男はあはれつばい、か細
い聲を出して、

「どう致しまして。私は三年前から病氣に
かかり、二年前に家内に逃げられ、唯今で
はこんな食ふや食はずの病みほうけた姿で
今年三つになる娘と細い煙を立てながら、
やつと暮してゐる身でございます。御覽の
通り、思ふやうにも動けないからで、ど
うしてこんな大きな重い白なんか盗んで
行けませうか。且那もあんまりひどいと思
ひます。」

と言つて泣顔をして見せました。それで署長
さんが、

「そりや氣の毒だつたな、それはさうと白
は前からお前の持物に相違ないのか。」

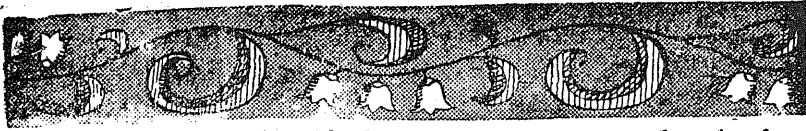
と言ふと、

「へえ、ええ、あれははつきり、私の持物
ときまつてゐるわけでも御座いせんが、

……その……誰かゝあそこに置いてあつた
もんですから……」

と、何だか要領を得たやうな、得ないやうな
物言ひをするので、ここまで聽いて來た署長
さんは、急に優しい笑顔になつて、

「うゝむ、よしよし、よくわかつた。誰の
物といふ主のきまつてゐない白なら仕方が
ない。此の白は當然お前のものだ。もうい
いから此の白を持つて歸るがよい。」



かう言ひながらも署長さんは、署長室の方へ
すうつと引きあげていつてしまつた。最敬禮
をしてから後を見送つてゐた其の男は、

「やれ〜、きはどいところで助かつた。

有りがたい〜、これでこの白も、天下晴
れて私の物になつたといふもんだ。さて
〜又も御意の變らぬうちに、善は急げぢ
や、引上げるとしよう。」

と病弱の頬にニツと崩れさうな笑顔を作りな
がら、臼の側へにじりより、さて解放された
うれしさで、病人らしく屈つてゐる腰を一つ
ランと伸ばしてから、大きな臼をごろりと横
倒しにして、コロ〜〜と警察の前庭
を苦もなく轉がし終つて、今やまさに通用口
のところを出離れようとした一刹那、

「こら待てッ！」

といふ破鐘われがねのやうな大喝。

ぎよつとして立ちすくんで振りかへつたそ
こには、さつきの署長さんが、眼を光らして
仁王立ちに突立つてゐた。

「不屈者奴が。永の頬で臼も動かせないな
どと、よくも白々しいことを吐かしをつた
な。まだ白状せんか。」

「恐れ入りました。實は……」

と、其の男はへな〜とへたばつて庭の片隅
に小さくなつてゐた。

四

小父さんが、つい話に夢中になつて、「不屈
者奴が……」の所を思はず怒鳴りつけるやう
な大聲を出したので、今度は、日出夫さんが
手を拍いて「いよう署長さん」と囃し立て
た其の大笑で、お話がおしまひになりました。
間もなく、其の白が爲吉さんの店頭に再びど
つかと坐つてゐたことは勿論であります(完)

日本幼稚園協會總會

記

者

一

昭和三年七月廿七日午後一時より東京女子高等師範學校に於て總會が開かれました。丁度文部省主催の幼稚園に關する講習が七月廿六日より三十一日まで東京女子高等師範學校に於て開催せられ講習員の方が百六十名も各地方より御上京になつてゐた際でありましたから、わが總會に出席せられた方が非常に多く、二百五十名を超ゆるといふ盛況でありました。それに久々での總會でもある。先づ會長吉岡郷甫先生の開會の辭があり、堀主幹の會務報告がありました。

大正十二年の大震災火災によつて日本幼稚園協會の諸事業が一頓座を來たし會計状態が思はしくな

かつた有様について説明があり、その後幸に益々發展しつゝある経過の概要が明白となりました。

それより會員の方々からいろいろの研究報告がありました。翌廿八日には矢張午後一時より開會。懇親會で形式ぬきの愉快な席、桑港金門學園の河合長子さんのお話があり武岡鶴代女史の獨唱があつた。更に多田池袋幼稚園長の所感があつて茶菓に移り柳屋三悟樓の落語「夢」の一席があつて愉快の中に日本幼稚園協會の總會が閉會となりました

二

次に日本幼稚園協會總會に於て會員が報告せられた研究發表の概要を抄録いたしませう。

幼児の仕舞について

久門 嘉祐

岸邊福雄先生が日本の土に芽生えた日本の子供を育てるには是非共日本の土、日本の水、日本の空氣が必要であるといふ見地から此の仕舞を幼稚園の保育の一課として取り込まれました、即ち私も先生の意を受けて多年研究の結果これを子女の仕舞化し、私の幼稚園で實施致して居りますること、茲に十九年其の一日も休んだことのないといふ程大切な科目になつて居ります。それが決して理想空想ではなく、實に日日其の效果に引きずられてどうしても仕舞は毎日しなければならぬやうになつて續行して居る次第でございます。

さて仕舞の保育的價値といふやうな理論的なことは漸く措き、茲には只目前に見えて居る効果について其の實例を二三お話し申上げて見たいと思

ふのびこります。

一、仕舞は幼兒には勿論家庭に非常に喜ばれます、仕舞は餘程子供に嬉しいと見えて如何な癖の子供でも仕舞にならとつつきます、お並びもお唱歌も遊戯も皆と一しよ、お辨當をたべることの出来ぬやうな子供でも、附添の手を握つてゐて少しも附添から離れない子供でも、仕舞は不思議にもちやんとします、如何なる「ハニカミ屋」でも「引つ込思案屋」でも「活動の貧弱な子供」でも「表情に乏しい子供」でも「ムツカリ屋」でも仕舞には無難作にとつつきます。そして一旦仕舞にとついたらもう半途で幼稚園を離れるといふことはありません。十九年の間に家庭的事情止むを得ぬ場合の外女兒の半途退園といふのは一人もありません。このことだけで、仕舞の偉大さを思はずにはゐられないのでございます。こんな實例もあります或家庭で今年五つのお嬢

さんを幼稚園へ入れたくてお母さんはやさもきされるのでありますが、どうしたものかお嬢さんがイヤといふて聞かないのでほとく困つてゐらつしやいました。或日お嬢さんをつれてお使に出られた序に幼稚園に立ち寄られました。

成る程お嬢さんはお膝に顔を押しあて確かりとしがみついて、イヤ／＼カイルカイルの連發でございました。丁度其の時お仕舞が始まつてゐました。お母さんが「まさ子さんお仕舞といふものよ面白いね皆さんち上手ね……まさ子さんも幼稚園へ上がれば教へて下さるんです」と機嫌をとるやうに言はれました、すると今までお顔をとお膝に押しあててゐた「まさ子さん、頭をあげてお仕舞を見るやうになりました。お母さんが面白いでせうお仕舞好きでせう「まさ子さん」も皆さんと一しよにお仕舞を教へて頂くかいとお母さんが一膝のり出しました、「まさ子」

さんさつきと變つてニコニコうなづいてゐますそこで園長先生すかさず、まさ子さんお仕舞好きでせうさあ／＼しませうよと新しいお扇子を出しました。「まさ子」さんお扇子を取りました。そしてお母さんから離れて園長先生の手に來ました、すぐに手をとつて皆と一しよに「熊野立ち出て」をさしてあげました、「まさ子」さん大喜でお仕舞が濟んでから又お母さんのお膝へ行くかと思ふとそうでなく一しよに舞ふたお友達と手をとつて面白く遊びました。お母さんには來たときと打つて變つて二人でニコニコ歸りました。けれども、そんなに問題であつた「まさ子」さんが果してあした來るかどうかは疑問であり若し來なかつたならば折角のお母さんの心盡しも水の泡となる譯である、どうしてお母さんの望を達せしめてあげるか、又來たにして

も、どうして其の幼稚園のイヤを取り拭ふてあ

げるか非常に興味を持ち又可なり準備をして一

晩を明かしました。來ました早く女中に送られ

てお扇子を奇麗な袋に入れ肩にかけてニコニコ

來ました、これで先づ一息つきました、先づ一問

題解決、さあこうなるとどうして此の「まさ子」

さんに對する保育のスタートを切るかといふこ

とが私にとつて非常に興味ある問題でありまし

た。所が案ずるより産むが易い「まさ子」さん

はもう昨日のお友達と手をとつて遊び出しまし

た、私は全くあつげにとられたのでありません。

それからずんずんのびて二年の間只ニコニコ保

育を受けて立派に卒業されました。いつでもお

母さんが「まさ子」は全くお仕舞から幼稚園へ

入れていたゞいて立派な保育を受けることが出

來たのでございさすと感激の涙さへこぼされま

一、仕舞と一家團樂

お仕舞は伴奏もいらす相手もいらす和服でも洋

服でもよし、至つて簡單に出来るのであります

から思ひついたときいつでも出来ます。それに

どたんばたん飛んだり跳ねたりするのでなく優

美な高尚な舞でありますお座敷或は御殿で舞ふ

てよろしいのであります又振型が我々がほんの

こしらへた遊戯の振のやうものではなく振型に

權威があるのでありますから幼兒が下手に舞ふ

てもこれを他のものが笑つたり批評をしたりは

しません、只可愛く上品に見てくれます、そう

した譯でお仕舞はよく家庭でします、そしてそ

れが一日の活動を了へて疲れて歸つて來たお父

さんを慰め一家の鬱氣を取り拭ふ原動になつて

居ります、これは各家庭の齊しく喜んで居られ

る點でございます、謠曲の入つて居る家庭では

尙更のことです。

私が或日或園児の家を訪問しました。するとどうしたものが非常な歡待で驚きました、何かお取次の間違でないかと思ふた程でありました、お祖母様の案内で立派な客間へ請じられました。さて先生何からお禮を申し上げてよいやら……ア、千代子や一寸これへゐらつしやい……といふ聲にしづくとそれへ出てこられたのは、まだ花はぶかしい盛装の花嫁御寮——慇懃に挨拶をされます、私はハテと首をかしげましたが御嫁さんまで御紹介とは益々不可解やうやつこのことでも目出度うございますの一言が辛くも出ました。お祖母さまが先生これは幼い時に御厄介になりました杉山千代子でございます、此の度次男の嫁に貰ひました、現在のよし子が世話になつて居りまする幼稚園を嫁も卒業致しましたといふのはまあ不思議な御縁でございます先生私から嫁の自慢を申し上げるのは變なもの

でございますが……」三子の魂百までも」とはよく言ひました、丁度千代子の幼い時の御丹精が何かにつけて今日に見えるやうでございます、それに宅ではお蔭様で每晚よし子がお仕舞をします、丁度お祖父さまも私も又よし子の父も家中でも諸が下手の横好、皆で地を謠ひます、幸に觀世流でございますから、どうにか間に合ひます時には「お祖父さんのお謠はのろくて下手」なんてよし子に叱られることがありますアハハハ。あの無邪氣に優しくも尊く舞ふ姿何とも言ひやうのない味でございます、こうしてよしこのお仕舞のお蔭で家内中でよい樂が出来ますそして先生千代子はお仕舞が出来ますからよし子と一しよに舞つたりなほしてくれたり教へてくれたりします、本當によい嫁を貰ひました、これだけでも皆に大切がられ可愛がられて實に肩身が廣うございます、先生其の嫁を捜したの

は私でございます、私まで鼻が高うございますと自然にお祖母さまの頭が下りました、言ひ合はしたやうに千代子さんの頭も下りました、思はず私の頭も下つて少時緊張した全く劇的シーンを現出しました。

一、表情の深味

顔の色形を變へて喜怒哀樂の情を表出するのは未だ浅い表情で言はゞおあいそ表情であります而してこれも必要ではあるが此の表情も度を過ぎたならば他人を侮辱し自己の人格を低下せしむることになります、抑も他に眞の感動を與へ又自己を宇宙と和合一體ならしめんとするには深い表情即ち靜の表情でなければならぬのであります、表情に深味が出来るだけそれだけ人格は向上するのであります、芝居を見ても奴雜兵下役の表情は浅い表情であります、實に顔の運動神經は忙殺される程顔の形が變つて行きま

す……が立役主役になると俳優の人格も異つて居りますが自然表情に深味を持つて奥床しくございます、又能樂に於てシテ方は大概面をつけて居ります、面は檜でうつたもので形は何時如何なる場合にも同じで少しも變ることはありません即ち靜であります、然るに名人と言はるるシテ方これをつけて演じますると不思議にも其の場合〳〵の情といふものは木彫面を貫して外へ浮出て來るものであります、實に桐の面箱に納まつて居つたときの面とは違ふのではないかと疑はれる程凄く見える場合があります、けれども決して面がちがつたものではありません、全く表情の深味に入つて居るのであります、即ち靜の表情であります、こうなると表情は形から超越して靈其物に歸するのであります。

幼児ながらも仕舞が少し舞へるやうになりますと自然に表情が此の味になつて來ます、自由活

動の間にも然りであります。

一、仕舞と健康

仕舞は姿勢は良くなり行儀はよくなり落着は出来越味は高尚に舉止動作は上品に堅實になるといふことにはもう議論を抑むの餘地がないのでございます。

一、幼兒の仕舞から母親の健康へ

謠曲仕舞を保健の第一とせられて居る方は世間多々あります、私の幼稚園の敏子さんのお母様は敏子さんを産んでから産後の肥立がわるくそれからといふものは病氣になつて一寸何處かへ行くにも必ず藥瓶を持つて歩く、長い月日笑顔一つ浮べたこともないといふ有様でありましたそれが敏子さんがお家でお仕舞をなさる、それを見るのがお母さんの何よりの樂でありました其の中にも母さまも聞覚えて地を謠つてあげる敏子さんとしよに舞つて見るといふ状態であ

りました、と不思議なやうに頭は軽くなり胸はすき體の調子が大變よいといふ具合であります、お母さんそれに味をしめて、もう一日もお仕舞を止めることは出来なくなり體の具合もずん／＼よい日がついてお母さんの笑顔さへ外へ漏れるやうになりました。今では熱心な謠曲家になりお上手になりました。共に／＼お喜び申し上げて居る次第でございます。

因に私の幼稚園では仕舞を仕込む教へ込むといふやり方ではありません。只毎日面白う優しう舞ふて遊ばせて居るので長い間に自然に型がつくのでございます、尙女兒は仕舞男兒は地謠をやつて居ります。

尙仕舞はむつかしい、第一先生が謠曲からして稽古してかゝらねばならぬとお考の方がありません。私は多年の研究で此の點は解決してあります。即ち幼女の仕舞化してあります。これによれば地謠として却つて童謠よりは謠ひ易い位で型も五六の基本さへ腹に入れば遊戯よりは易いのであります。

幼児の畫き方について

本郷區第一幼稚園

研究イタシマシタ子供ハ昨年ノ四月ニ入園シテ
 本年三月ニ修了シタ女兒デゴザイマス、年齢ハ組
 中デ一番小サク始ハ大變ワカリノヨサソ一ナ子供
 デシタガダン／＼様子ヲ見マスト他ノ子供ヨリモ
 イトラカオクレテオル様デゴザイマス。

ソコデ始テ畫方ヲサセマシタ處ガ他ノ子供ハ何
 カシラ畫キマスノニ、此ノ子ハアタヘタクレオン
 ヲ左ノ手ニ持ツタリ等シテボンヤリトシテ何モカ
 キマセン、イロ／＼尋ネテ見マスト今マデニ一度
 モ繪ヲ畫イタ事ガナイノダソウデス。

ソコデ何カ畫ケルヤウニ又畫ク事ニ樂シミヲモ
 ツヤウニト存ジマシテソレニハ子供ノ畫イタ繪デ
 簡單ニシツカリト畫イタモノヲ與ヘテマネシテ畫

カセタラキツトヨロシカロウト存ジマシテ丁度ヨ
 イ繪ガ有リマシタノデソレヲ見セマシタ處ガ、マ
 ルデ手先ニカガナク又、ドコカラ畫イテヨイカワ
 カラナイラシイノデス。

ソコデ始メカラ繪ヲ畫カセル事ガ無理デ有ル事
 ガ分リマシタノデ先ヅ手先ニカヲ付ケサセル爲、
 縦横十文字ニ面白半分ニ何本／＼モ棒ヲ畫カセマ
 シタ、ソレカラ四角、三角、マルヲカカセマシタ、
 處ガオモシロミガ出タト見ヘマシテ遊時間ノ時室
 ノ中ニ入り込ムデ一生懸命ニ畫イテ居ルノヲ見カ
 ケマシタカラ、早速ソバへ行ツテ、四角、三角ヲ
 基ニシテ簡單ナ家ヤ、机、火鉢、ソレカラ、マル
 イモノデハ果物等カイテマネサセマシタ處ガマガ
 リナリニモ畫キマシタ。

其後様子ヲ見テ居リマス、手先ハニブイノデス
 ガ、一度カイタモノハヨクオボヘテ居テ、遊時間
 中次ノ畫方ノ時等カイテ居リマス、ソレカラ次ニ

ハ前ニカク事ガ出来ナカツタ子供ノカイト繪ヲ示シマネサセマシタ處ガ今度ハカク事ガ出来マシタ。

其後六月頃ニナツテ、ボツ／＼自分デ考ヘテカク様ニナリマシタ。

九月ニナリマシタカラ、興味ヲオコサセル方便トシテ厚紙デ、花ヤ、鳥、犬等ノ形ヲキツテ、コレヲ紙ニアテ、輪廓ヲ取ラセマシタ處ガホカノ子供ハオモシログアツテイタシマシタガ、此ノ子供ハマダ十分ニ手先ニカガナイタメニオモワシクデキマセン、又、うつし繪ナドモ致シテ見マシタガコレモヨク出来マセンデシタ。

マー一番子供ノカイト畫ヲ見セテカ、ル事ガヨロシイ様ニ存ジマスガ、コレモアマリイツマデモマネサセテバカリイテハイカガカト存ジマス。

ソコデコレハ二月ノ初ニ幼児全體ニ、オ父様、オ母様、ト注文シテメ／＼ノオ父様、オ母様ヲオ

モイスベテカ、セマシタ處ガコノ通りカキマシタトニカクコレダケ畫キ得ルヤウニナリマシタガ、タツタ一人ノ子供ニタメシタダケナノデゴザイマスカラ、ドノ子ニモスレバ、カケル様ニナルトハ決シテ申上ゲラレマセン。モツト多數ノ子供ニタメシ又モツトヨイ方法ヲ考ヘテ見タイト存ジマス。

我が園兒の心に映じた金魚

東京市番町尋常小學校附屬幼稚園

(1)

日頃私は幼児が、物に對して其物の如何いふ點に最も多く興味を感じてゐるか、物をどんな風に見てゐるか、どの様な見方をするか、と云ふ事に就いて私自身興味を持って居りました。即ち幼兒の物に對して興味を感じる點に於て、物に對する態度

に於て、更に物を見てゐる、眺めてゐる點に於て何か私達成人の世界とは違たものがありはしないか、私共成人には思ひもつかぬ、幼兒特有の見方なり態度なり興味なりがあるのではないか「どうかして眞當に幼兒が見、幼兒が感じてゐるあるがまゝの姿を知りたい」之が小さいこの研究なり調査なりを思ひ就いた動機であります、勿論この調査は之で完成して居りません。ほんの序論的のものであつて更に、實際見た、眺めた金魚に就て觀察すべきでございますが、未だそこまで到て居りません、今日はただ其全半を申上まして皆様の御批評を仰ぎ御教示を得て今後の研究の資料と致したいと思ひます。

(2) 問 題

現今此處に、「金魚」と云ふものを考へます、「金魚」と云て私達の心に直ぐ浮ぶ金魚といふ物はどんな姿をして居るでせう、轉じて幼兒の耳に「金

魚」と云ふ言葉を聞かせましたら、どんな色、どんな形をした金魚が其の心に浮ぶでせうか。幼兒に依て考へられた「金魚」その心に映じた金魚それを知らふとするのが此調査の直接目的であります。

(3) 方 法

次にこれを知る方法でございますが、其に對して私は二つの方法をとりました、一は幼兒の畫いた畫に依て、一つは幼兒の言葉の表現に依て即ち會話に依て見たものであります。

(4) 經過に就て

イ、期 日
 本年七月三日、四日……五日會話に依る發表、
 同七月九日……畫く事に依る發表、

ロ、場 所—於東京市番町尋常小學校附屬幼稚園

ハ、被檢者—出席園兒八十四名
 學齡前 一年以内
 幼兒六一名
 同 一年以上
 幼兒二十三名

ニ、狀 態—各組に依り室の中で「金魚を畫い

て下さい」と云て紙を渡す、クレイオンは各兒所持する八色を使ふ
2. 室の内外を問はず對談の出来る任意の時、なるべく一人一人に就て各主任の保姆が「金魚つてどんなもの？」と問ひ其答をそのまゝ記しました。

1. の場合には實物の金魚を目に觸れる處に置かず又2の場合には幼兒の答に暗示を與へるような事はつとめて避けました。

ホ、整理—言葉の發表をした者で九日に缺席の爲畫かなかつた、學齡前一年以内幼兒三名を除いて八十一名の幼兒に就いて結果をまとめました。

(5) 調査の結果

畫に表れたもの、言葉に表れたもの二つを便宜上、數、背景、色、形、動作といふ五項目に分けまし

た、此の中、數は主として畫に表れたものであり又動作は主として言葉に表れたものであります。各百分比をグラフに表しますと次のようになります。

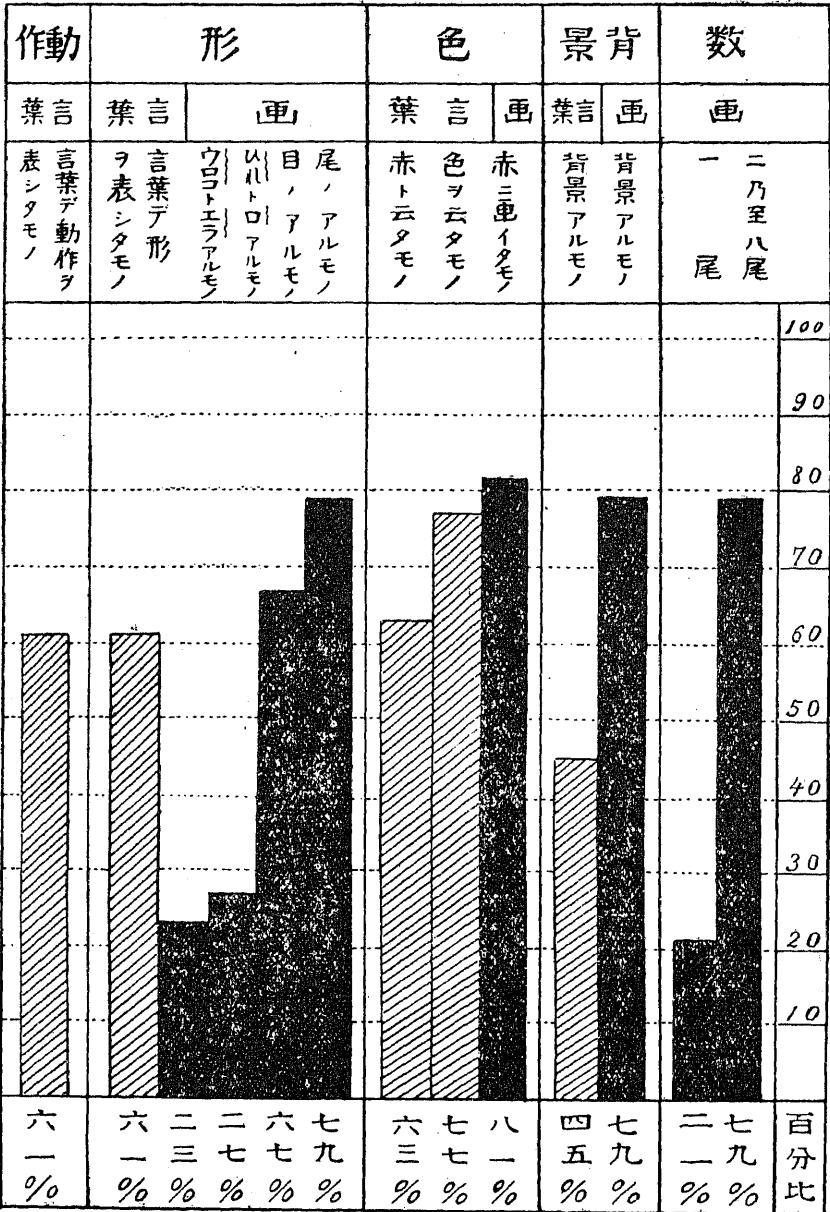
背景の内容には水が最も多く草、木、花、蝶、蜻、めだか、鯉、龜、おたまじやくし、雀、人、舟等で色を畫いた内八一%の赤の他一九%は樺と赤と樺の交りと紫と縁と茶でございます。言葉で動作を表した實例を挙げますと「泳いでる、水を含んでる、口をあいてる」等であります。この數のところ「一尾畫いたもの」といふのは數としては一尾であつても水或は人の背景を持てゐるので全然金魚一尾のみといふのはありません。なほ言葉の表現の方で、「ひれ」「泳ぐ」といふ事を言ひ表すには、手眞似、身振に依り、「かうやつてゐる」と云て云ひにくいらしい言葉を補てゐました。

(6) 結 語

これらの事實に依て、大體次の三つの事が云ひ

画ニ表レタル

言葉ニ表レタル



得るかと思ひます。

一、には金魚のみ全然一個を畫いにもは殆どありません、背景なき金魚は必ず二尾、三尾の群であります、一尾ならば池の中に、又は木のあ
る山にかこまれた水に、其處には釣りをする人
見て居る人がゐます、又母金魚と連れ立たり友
達のちたまじやくしや、鯉、めだか等と一處に
遊んで居るので、金魚のみとり出した、抽象的
な分析的なものではなく、或環境の中の一部
分として、具體的な全體的な存在として見てゐる
こと、

二、には金魚それ丈に就て見ましても、「赤いもの」「うごくもの」と云ふ様に大づかみであり
まして、部分的な描寫が少なうございます、身
體の部分でも、目、尾の如き主要な點は多數が
注意して居りますが、ひれの如き、ことにあま
り動かない者ひれは極く少數の脊しか見て居り

ません。

三、には形より多く色の方を見てゐるようであり
ます、言葉で表した方丈見ましても色を云たの
が七七%で形を云たのは六一%であります。畫
に表れた方では、圖表の様に、赤い色を以て金
魚を表したものが八一%で形の整たもの即ち尾
のあるものが七九%で目のあるものが六七%で
あります。

幼兒が私達に與へた表現には多くのよいもの
あるのに、此の研究がまだほんの手はじめで、中
途でのまとめで、至らぬ点が多いと思ひます。ど
うぞ皆様の御教示、御注意を重ねて此處にお願ひ
致します。

一年の先生とお話しての感想

ト 部 た み

得るかと思ひます。

一、には金魚のみ全然一個を畫いにもは殆どありません、背景なき金魚は必ず二尾、三尾の群であります、一尾ならば池の中に、又は木のあ
る山にかこまれた水に、其處には釣りをする人
見て居る人がゐます、又母金魚と連れ立たり友
達のちたまじやくしや、鯉、めだか等と一處に
遊んで居るので、金魚のみとり出した、抽象的
な分析的なものではなく、或環境の中の一部
分として、具體的な全體的な存在として見てゐる
こと、

二、には金魚それ丈に就て見ましても、「赤いもの」「うごくもの」と云ふ様に大づかみであり
まして、部分的な描寫が少なうございます、身
體の部分でも、目、尾の如き主要な點は多數が
注意して居りますが、ひれの如き、ことにあま
り動かない者ひれは極く少數の脊しか見て居り

ません。

三、には形より多く色の方を見てゐるようであり
ます、言葉で表した方丈見ましても色を云たの
が七七%で形を云たのは六一%であります。畫
に表れた方では、圖表の様に、赤い色を以て金
魚を表したものが八一%で形の整たもの即ち尾
のあるものが七九%で目のあるものが六七%で
あります。

幼兒が私達に與へた表現には多くのよいもの
あるのに、此の研究がまだほんの手はじめで、中
途でのまとめで、至らぬ点が多いと思ひます。ど
うぞ皆様の御教示、御注意を重ねて此處にお願ひ
致します。

一年の先生とお話しての感想

ト 部 た み

何か發表するやうとの事ですが、別に纏つた考もありませんので、尋常一年の先生と話した事に就ての感じを申上ようと存じます。

幼稚園で二年或は三年の保育を経た子供を尋常一年に送つた後、その子供達の新しい學校生活を想ひ氣づかふ親心は、どなたも御同様と存じます。私も今年は三十餘名を一年生におくり、又新入幼兒に接する事になりましたので、なるべく一年の擔任との話合の機を持つ事、廊下づたひに時々學習の様子、遊びの様子を観る事等を致して居ります。そして其れに依つて私自身がどれだけ教へられて居るか知れないので御座います。

私共の學校の一年と申しますのは一組約四十名宛が二ヶ學級ありまして、當園からの子供も此の二學級に分れましたので、一學級の凡そ半數足らずの人数で、あとは調査の結果新に入學した者で御座います。擔任の先生は話合の際、幼稚園から

來た子供と家庭から來た子供の二つに分けていふけれども、實際上は當幼稚園を経て來た者と、新に入學したものの即ち他の幼稚園及び家庭から來た者との殆ど此の二つに考へる事が多いとの事で御座いました。要點を申しますと、○幼稚園から來た者は幼兒相互の生活になれてゐるだけに一團となつて遊びをする事が出来るが、又それだけに興にのつては或る一人のリーダーを見出すと雷同的な形に見えるやうな遊びを見かける事もある。又所謂お行爲の悪いといつた風の子も中にはある。又ともかく遊びをあてがはれずとも各自が自發的にのび／＼と遊びを初め、次々に發展していく處は面白い。

○談話を好んで聞く事はどの子供も同じであるが幼稚園から來た子供は内容も比較的豊かに持つて居て共鳴の心情も見え、ことに自分が發表する時には自由に思ふ事を無邪氣に元氣に、一人残らず

發表する處が如何にも子供らしい。

○圖畫等でも「先生何かくの？」或は「どれをかくの？」等と模範や暗示を要求し、或は「かけない。」の歎聲をもらす事はなく、元氣に大膽放膽にクレオンをうごかしてどんな大きな紙にでも充實した活躍した畫を嬉しさうにかいていく。だまつてゐると次々に發展して切り抜いたり、貼りつけてそれを幾日かかつても組立てていく。話をきいてもそれが畫になり、舞臺面になり、お話遊びに發展していく所、即ちいつも内容が豊かに元氣に活動してゐる子供らしさが嬉しい。いくら幼稚園でもいつも殆ど同じ様に石板や小さい紙をあてがい、小さい臨畫の模寫に似た事はかりしてゐたら、或は少しの粘土とかヒゴとか限られた材料でたまにきめられた手技だけをさせられてゐるのであつたら、伸びくしたのなないであらう。

○然し讀方算術になると、つまり計算力の速度、

筆寫力の速度、文字の讀み、書取等となると、幼稚園から來にもは新たに入つに子供達にグラフの上では、比較的今の處では(四月中旬)の事とつてゐるやうである。けれども讀方も内容の發表とか話方は勿論すぐれてゐる。幼稚園に於ては今少しこの方面にかんがみ、比較的容易な機械的の練習といつた方面も認めて考慮しては如何なものであらうか。然し是等の方面はある期間により又變化が來る事は當然であるが。

右の様な概評をさきまして、私は非常に面白い事と存じました。こゝには尋常一年の教育に就ての考へ方や方法の問題も同時に含まれてゐますが、それは又別の事として、大いに幼稚園教育に參考となる點を認めました。

それから一學期もたつた遂ひ先日學期末の成績調査後、數日引續いた保護者會がありました。お母さんが非常に熱心に算術を教へられるので筆算

の飛切り速いAさん、前の幼稚園の時受持の先生が熱心に準備教育をして下さつたので書取の特別上手といふF子さんのお母様も見えました。そしてどちらも速度表の上に優れた成績をみせてゐましたので、最もよい成績である事を期待して來られました。然し子供らしい潑刺さがあつたそして偏りのない圓滿な發達をした子供と希ふなら、所謂算術、讀方の一部分だけを心配して他を忘れた様な教育の間違ひであつた事、子供の生活全體としてもつと活きた指導をしなければならなかつた點に氣附かれ教へられて歸つたといふ事で御座いました。

そして又第一學期末には、全體的に發達した子供であつてこそ其他の機械的練習の効果もあがりやはり幼稚園でよい子供であつた者が優秀の成績にあるといふ報告をうけたので御座いました。

よく幼稚園を経て來たか否かによつて小學校に

於ける成績を問題にする事があります。是は尤も
の事大切の事と存じますが、私は幼稚園に居た子供故にすぐ点数表に現はれた成績がよくあるべきものと定めてかゝる考へ方は如何かと思ひます。
一方幼稚園に於ては此の大切な幼兒期の發達を眞にゆがみなく最も幸福に伸ばしていく事を目標として行くのであつて、斯くしてそれが結局小學校に行つてはよい成績として表はれ來るべきは當然の事で御座います。

處が是迄の幼稚園を反省すると、子供は小さい
し教科目があるわけでなし、子供をのび〜遊ばせてゐればよいのであるからといつた、非常に安氣な考から凡てが消極的に打過ぎて來たのではな
いかと存じます。幼兒がやまれぬ欲求から文字を
たどり讀むのをびつくりしたり、心配したり、又
教育といへば尋常一年の四月から始まるものと思
つたり、さうかと思ふと又教育とはすぐ文字を教

へ込む事、數を數へさせる事と解釋してしまつて、幼兒生活に縁遠い抽象の文字や抽象の數の遊戲を強いたりして、積極的に教育したつもりで居たり、外界のあらゆる環境に多くの教育的材料が豊富にあるのを氣附かず居る様な例が多かつたのではないかと存じます。

是については今朝ほど、倉橋先生から「保育作用の積極的方面」といふ題目のもとに根本的に御懇切にお教へいただきました。先生の御言葉の一つ／＼蒙を啓いていただく有難さを感じました。そして又不覺ながらもさう大きなふみ外しもなく來た事を嬉しく存じました。

ともかく小學校も幼稚園も教育をする所である事にかはりはなく、小學校に於ては系統的に教育教科の目的がたてられておますが、幼稚園はそれがたとへ形式に於てはつきりしないにしてもその對照は小學校以前の幼兒の生活指導である限り、

保育の目的に慮つてその目標とすべき處を持つてあるべきは當然の事と存じます。そして然も幼稚園では唱歌、遊戲、手技等と分科された一つ／＼の項目に就て、ある型や技巧を教へる處でなく、どこ迄も子供の眞當の生活全體をより進展せしめ、よりよく發展せしめていくそこに項目として纏められた、手技、唱歌、談話等が取扱はれていくのであると考へたいと思ひます。そして是等全體的教育の理想的のものこそ幼稚園を以て他に見られない筈と存じます。私共保母としては是をおもひ、眞の幼兒を知り、文字の教育以前の教育、數の教育以前の教育から出發して出来るだけ幼兒の生活内容を豊かに充實せしめて、意義のある幸福な幼兒期を送らせる事を心したいので御座います。

然もかうした幼兒生活の發展としての尋常一年の教育であつてこそ、眞に子供を幸福にするもの

であると存じます。先年度に於て私は幼稚園二ヶ年に尋常一年の教育の三ヶ年を経験した事がありますが、力ない自分の事としてよい教育をする事は出来ませんでした。が、人格的聯絡といひませうか

一年幼稚園の各々によく見る縁りかへしや、徒勞に近い仕事だけは省く事が出来非常に愉快で御座いました。なほ尋常一年の教育に就ても考へてゐる事や、一年の先生に申上たい事等も御座います。が、何分制度や設備人數其他の点から、さう理想的の事を要求出来る筈のものでありませんので、先づ第一に私共人の問題から心掛けていかねばならないと存じます。

昨今は随分進んでゐるやうですが、もつと一年幼稚園の兩方の先生があゆみより手を取り、うちとけあつた教育上の話合が必要であると思ひます。そこにこそ本當の幼稚園一年の聯絡問題が生きていくのであると存じます。短い時間に申上

たい事を欲ばりましたので結局何もかも纏らなくなりましたが、御判じを願ひあはせて御靜聽を感謝いたします。

立體紙摺の世界と

觀察の世界

静岡櫻幼稚園 林 せい子

一般の傾向が、大人は計畫するが實行せず子供は喜んでなす。この點を優しい母として眺めて行く時子供の愉快に努力してやりたくありません。子供は何時でもおもちゃと仲良しで色んな方面から集めて來ますが、必ずしもよいもの丈ではない。それで良いおもちゃを選ぶことが必要でございます。子供に良き手本を與へること、子供の求める力は強うございます。得ずにはおかないのですから、先生が之を上手に方向轉換してよき世界に導

いてやります。

幼稚園の項目の手技の摺紙がもつと立體的になると玩具となり観察となります。立體紙摺と観察を結びつけると自然に結びつきます。その一例を申し上げます。四月のある日郊外にまわりました。麥が一面に緑をなす時で、又六月それが大きくなつた頃出かけました。大きくなつたねと子供は喜びました。お米の唱歌を習つたので直ぐ唱歌を歌ひだし、苗代と結びつきました。それからその邊で面白く遊びました。大ばこで引つ張りッこする、片方では白れんげ摘み、蝶追ひ、たもであたまじやくしをすくふ。斯うして遊んでゐる間に豊に観察をして居ります。歸りに藁を積んである所を通りました。その一束をみんなでもらつて歸ります。紙折、箱、紙入などが造作なく出來ます。そのわりに色をつけて用ふのです。

又八百屋遊びを致します。二三此方より果物を

畫き出す、幼兒は種々と注文を出して畫きます。

果物屋には果物しかないが、八百屋には果物も青物もあるといふ観察が出來ます。こうやつてみんなで畫いて切り抜た果物で果物屋さんを初めませう申としますと段々に必要な袋だのかごを作り自然の間に八百屋に對する観察がつかます。

まゝごとの時も必要なもの、欲しがる物を買はずにすつかりこさへてやります。立體紙摺は観察が一緒に楽しく出來ますから子供の生活が楽しく出來るわけです。何か欲しいといふ時、先生が直ぐ作つて賣子になるのもよろしいではございませんか。それには先生にその材料を養ひおくことが必要です。立體紙摺は斯うして疊んでしまつてあるのを立體に擴げて用はれますから子供が喜びます。

幼稚園に於ける

自由遊の地位

大塚喜一

大正十三年夏大阪に於て倉橋教授が「幼児教育原論」と題してせられた講習は、地方に居て先生の御聲咳に接する機會の少なかつた私にとつては實に尊き賜物であつた。此講習に依て私は「幼稚園に於ては、子供に事物を教ふるよりも子供の生活それ自身を育てる事を主とすべきであつて、茲に保育の保育たる意義がある」と考ふるに至り、更に此保育の意義を發揮せしむるには、幼兒の自由遊を保育の中心的地位に置かねばならぬと考へたのである。

幼兒が幼稚園に來てから歸る迄の時間の半以上は自由遊の爲に占有せられて居る。しかも其自由

遊は内容としてすべての保育科目を其中に含んでゐる。斯かる關係を比喩的に言ひ表はせば、自由遊は我々の食事に於ける米飯の如きもので、其他の設定保育は副食物に比すべきであらうか。副食物は米飯の單純なるに比して種類も多く變化に富んでゐるから興味を惹き易く研究され易いが、しかしあくまでも主食物たる米飯に副すべきものである。尤も宴會等の場合には御馳走を澤山並べる事もあるが、いつも左様な事ばかりをしてゐては消化不良を起すか又は滋養中毒になるであらう。米飯と副食物とが身體内に入つてから其要素々々に分析されてどういふ風に交互に相互作用するかは別問題として、設定保育によりて如何にして自由に遊び得る力が養はれるか、又は自由遊を心ゆくまで充分にする事によりて如何にして設定保育を受くべき素地が養はれ更に進んでは設定保育の目指してゐる効果が得られるか。此様に考へて各保

育科目を自由遊を中心として眺めて行く事、自分の力一ぱいに思ふ存分に遊べる様に爲るために又は如何にして遊ばんかと自ら發明し發見し得る様にといふ風な教育効果は各保育科目によつて如何にして得られつゝあるかを思ふも又一つの考方でありませう。(後説實例参照)

今朝(七月二十七日)倉橋先生の御話の中に「保育作用に於て無用の積極的方法が用ゐられるのは保育の本質の積極性を十分に確認してゐないからであると云はれたのは、實に當を得た言葉と思つたのである。幼児の具體生活が全一的に渾融せるものであつて保育とは即ち此生活を保ち育ててゆくものである事を思へば、之を抽象化し又は切々に分化し分解する如き大人の手を加へる事は決して許されない筈である。自由遊に於ては斯かる有害なる干渉が無い譯であるが、しかも幼児をして各自の本性に由れる活動を爲さしめんが爲には、

詳く云へば幼児の一人一人の本性が外界の不自然なる束縛も受けず内心の煩惱や性癖にも妨げられずして真に無碍自在に發揮されむが爲には、内界も外界も適當なる状態に置かれねばならぬ。幼児保育の本質上要求せらるゝ積極的努力の最大なるもの、第一に位する者は、實に幼児達の自由遊を可能ならしむべき計畫や指導でありませう。其一一々の具象的實際は各園各々の特色もあらうが、只設備を自由遊に適する様に研究する事は何處にても用ひらるゝ模範例又は法則を産みはしないか。かくして種々の方面からの努力が綜合されて、幼稚園に於ける自由遊が圓熟して來た時は、實に其幼稚園の赤裸々なる實力が最も明に現はれてゐる其處には新しき遊び方、新考案の玩具、新見地の保育科目等が期せずして創作せらるゝ事もあらう。自由遊は實に幼稚園に於ける最も平凡なるしかも最も興味深き問題であつて、私の如き者が述

べるべき柄ではないが係りの方からの御要求があつたので失禮とは思ひつゝ私が平生最も重要な問題として考へて居る所を研究問題として發表させて頂いた次第である。何卒今後斯道に御體験深き實際諸賢より此問題について御發表あらむことを御願ひする次第である。

感想

高松玉藻幼稚園 推名 靜枝

子供の時分に感じた事が現在、大人になつた自分のやつて居ります事の導火線になつて居ります。お砂場に遊んで居ります子供を海岸に連れてまゐりますと、とても元氣になります。机の上から、土の上、砂の上に繪を持ち出させますと繪が大きくなります。私は子供を限りなく伸ばし果てしもなく廣い世界に放ちたいと思ふのです。曾つて、

私が幼稚園児だつた時、先生が私の畫いた繪について、其んな富士山はないとか、そのすぢから出てはいけぬと御仰いました。だつて私は富士山は見たことがない。だつてこのすぢの上まで續いて居るのですものと言いたかつた衝動を覚えて居ります。私は子供の思想を何處までも伸ばし度いと思ひます。子供は大きいものを要求致して居ります。そのためには粘土製作がよいのです。

私が始め幼稚園にまゐりました時、ぜんまい仕掛の玩具、きれいな玩具―それは持つて遊ぶ玩具ではなくて百貨店の飾窓式に只眺めるのです―それが澤山飾棚にありました。この頃それは一塊の粘土と變つて仕舞ひました。

粘土の前に立つ時幼児は非常によくびました。製作するに先だつて保姆自身が粘土の製作を致して居ります。さうすると幼児はその周りに寄つて来て、其處にある大きな粘土の塊から自分達も作

りはじめます。無限に粘土は與へられるものから次第に大きいものを作り出しました。子供の心を大きくくく伸ばすので子供はよろこびます。私は粘土細工とは申しません、子供等の藝術品とよびます。

繪にいたしましても西洋紙一枚の大きさに筆にたつぷり墨をふくませて畫かせます。いゝものがかけます。自分がこの様な事を考へるのはよいか悪いか分りませぬが、只大きくくくといふ事を思つて來たのです。

感想

石野喜十郎

私の此頃の所感は、近來思想善導が非常にやかましく唱導せられ、或は國難來とまで申されて居りますが、私は思想善導は幼児教育の振興にある

と思ふ。幼児教育の振興は思想善導の急務なりと申し度い。子供は生れ落ちた時は白玉で善惡の何れに育つも躰方一つである。よくも悪くもなることは三十年前から教へられてあり、十九世紀の始めにも云はれてある家庭教育が基礎となることと違ひないことだが、三歳以上になれば子供は群集生活のをどむので家のみで育保をするのは望めぬ事である。幼稚園教育は、三歳迄は母の膝下にあつての家庭教育でよかつたその上に子供が他日社會に出て活動する習性を織り込む半意識的ではあるが、その大切な時期である。然るに一向に社會が認めぬ。私は情ない。大切な植附をする時を認めぬのだから。

十分に子供のあなかの中に立派な常識なり道德によつて皆さんが善良の習慣、つまり道德意識を養つてあげば、育て、ゆけば、十七八歳になつて狂うものではない。であるから何うしても幼児教

創立當時の唱歌

氏原 鋳子
膳 眞規子

育を盛にして幼稚園教育を基礎にして小學校が連絡して行き度いと望むのである。幼稚園と小學校の連絡のよしあしの研究もいろいろ承つた。シカゴでも連絡を計つてると聞いてゐる。大事なことである。どうしてもずつと連絡をとつて行くことが大事である。

まだ一つ遺憾に思ふことは横濱の小學校は殆んど二部教授、午前八時に尋一が登校すると十一時に退け、半日遊ぶので幼稚園より悪い。如何に躰けても之の間に悪い友達と接觸する、朱に交れば赤くなつてしまふ。も少し何とか私會事業協會が八釜しく唱導せられるがそれが此の半日間を何とかしてもらい度い。

もつと幼稚園を盛にして、幼稚園教育は教育の基であると文部省當りでも非常にやかましく言つて居られるから、これをお願ひしたいと御相談かた／＼此處に上つた次第である。

私は明治四十一年に幼稚園を引きまして以來廿九年間何も幼稚園の事を研究せずして今日に至つたのでこゝにお話申上げるにしても、參考になることは少しもございませんで申し譯ないことですからで古くさい人間は古くさい事だけしか申されませんが創立當時の唱歌について一寸お話申上げたいと思ひます。

明治九年今より五十三年前官立幼稚園として日本に始めて東京女子師範學校附屬としてこの幼稚園が建てられました。皆様の多くは未だ生れぬ古い時の事でその當時は保育につかふ唱歌が全くない。そこで豊田フク、近藤ハナの兩氏が苦心して

歌詞を作りましたが、未だ音楽知識の發達して居ない時代のため、作曲する人がありません。其處で二人は考へた末、宮内省の式部寮、宮中の奏樂を司どられる伶人の御方にお頼みになつてこゝで始めて作曲されました。

この歌について古い古をしなければなりません。昔から歴代の皇室に仕へ、明治天皇の遷都の時、京都から隨つて御出でになつた由緒あるお家柄で笙の家、七りきの家等それ〴〵の家の樂派を代々の方が專攻されて御用をつとめていらつしやるのですが、この御方々の三人の伶人が作曲された歌を持つていらしつて教授下さいました。調子笛で調べられて、手拍子で口移しに教はります。それを保姆から幼兒に教へました。樂器は何れも日本で出来ませぬ時ですから矢張り、只手拍子、口移しで、苦心した唱歌でありました。その後、豊田近藤の兩氏は續々と歌詞を作られる、古今集から

もどし〴〵選んで作曲を願つて百以上になりました。幼稚園のみならず、小學校、本校でも歌ふやうになりました。

明治十年音樂學校が出来て小學校唱歌集が現れる迄この歌を用ひて居りました。以來この唱歌は廢されて捨て、顧みられなくなつたものです。今から老姉妹でその昔の唱歌を御披露いたしますが唱歌は調子がゆるやかです、曲譜の配列が四分の一、八分の一、全音譜ですから。旋律はずつと高音から低音へ、餘程移りが大きい様です。幼兒の聲帯の上からいふとムリがあつたやうです。緩やかだつた所から優雅に聞えます。歌詞は稚言が多くて子供には分りにくい、歌つても十分意味が分りませぬが、旋律の優美は快感を以てよろこんだものです。何でもものゝ初めには不備があります。

春の歌

百鳥の立ち歸り來て諸共に鳴るがさま〴〵鳴さ

交す聲面白し大空の色もうらゝに曇りなき、光
あまねし波風の治まれる代の光あまねし

夏の歌

さつき立つ氣配もしるさわが宿の花橘はほころ
びけり庭もかほりて

秋の歌

露霜に梢は色に出でにけり衣の袖を吹く風も身
に泌む虫の聲すなり驚かれけり年月は半ばをと
しも杉のむら立

冬の歌

白雪の山も野原も埋む時、室の戸閉ぢて 静か
にもさゆる夜寒むを我は防かん

山里や草も荳らずに萱を刈る

紅

綠

末枯や地藏の道の明らかに

青

鏡



感想

○ 桑港金門學園 河合長子

加洲とメキシコは幼稚園ばかりでなく、町の生活も可成り深く知つて居りますが、堀先生のお書きになつた「世一界週」の中のとほりで御座います。むしろ少しあちらをけなし現きていらつしやりはしないか、と思はれる位であります。それでは日本は桑港の金門學園がどの様に經營されてゐるかを御話上げたいと思ひます。

金門學園は今から十七年前始めは極く小さかつたのですが段々生徒が増して、三年前にアメリカの小學校にも劣らない様になりました。東京市に建つ新しい學校と略々同じですが二三變つた所を申上げますと、唯今生徒數は四八〇人、幼稚園

は一五〇—一七〇人で加洲日本人の他の學校は、アメリカ人が主任であります。此處では日本人のためには、アメリカ人の主任ではアメリカスピリットで進んで行くからよくないといふので、日本人が主任になつてやつて居ります。アメリカの先生について毎日二時間語學、唱歌、手技を習ひますが日本と余り變りはありません。日本の子供のこしらへた紙細工を見せてほめられますが、紙の小さな事と、仕事の細かいことは残念でございます。あちらでは大きな、このテールブル位の紙一ぱいにインクをつけてかゝせます。日本人の幼稚園でも試みますが、經費の都合で出来ない所も多い様で御座います。紙にしろ、粘土にしろ、アメリカでは凡べて大きなものを用ひ、實物同様のものが作られます。紙も安く、色も豊富で思ふまゝの色があります。只残念な事は先生の人格的感化教育が出来難い事で日本人の美しいスピリットが

子供に入りませぬ。倫理科、宗教科などの考へが入らないのが惜しい事です。あちらではその方面は日曜學校と教會で行はれますから。

經營の方は一般本學園は日本人會の補助と月謝と無盡講でとした中からお父さんお母さん達が義務的に十五弗—二〇弗を出します。この無盡は大變堅實なもので地方では日本人が百五十人位であるためにこれを実施して居ります。五哩、十哩もある所から來ますから、學校の自動車で送迎いたします。夏になるとそれを利用して山に海にキャンプング致します。林間學校のやうに。幼稚園もついで行く事もあります。平生アメリカ學校に行つてつかれ切つた頭を又、日本學校に行つて、六ツかしい不斷は余り接しない日本語を習はせられていやがつてゐるのですがキャンプングでは面白い日本のお國の話聞かせたりしますので結果がよろしうございます。

學年は補習科八ヶ年、中等科二年(女學校程度)とありまして、その上に高等科は隨意科となつて居りまして、和歌、其他日本趣味のものを學びます。

男子青年會と同じく女子青年會がキリスト教、佛教によつて作られ、十歳位から參ります。リीडーは米國人です。米國に育つたハイスクール出大學出です。アメリカ人は家庭で嚴格に育てられて居りますから、日本家庭の子供をも同じ様に嚴格に育てます。日本にもモダンガールがある様に彼の國にも立派なお嬢様をつくる日本家庭の様な嚴格な家庭が御座います。あちらへまゐつて居ります日本人の中にも立派な家庭も御座いませうが、殆んど移民で、専ら、金々、金に働かすので、夕方になつても幼稚園へ子供を迎へに來ないつていふ風で、小學校になりますともつと甚しいさうでございます、家の入口にお小遣錢を包んであ

てやりまして、それで獨りで遊ばせておきます。

斯んな家庭の子供は日本の本當の家庭もアメリカの本當の家庭も知らずに成長しまして、青年會にまゐりますと、あちらでは男女自由の交際だからいゝ事は起りません。斯うしてクラブに行く様になりますと、不可ない事のみを覚えてまゐります。ハイスクールを出た十六七歳の者が、大學にも行かずに日本人クラブで支那人と一諸にばくちを打つて居ります。勿論みんなでは御座いませぬが、教會にたづさはる者はこれについて心配して居ります。女子青年會等で日本人の禮儀作法が分らないので、それを教へる集會がありました時、未だに歸宅しないと遅くなつて母親から電話がかゝることがいつも二三人はあります。斯んな傾向が段々見えます。男子青年會の方では余り間違つたことは聞きません。女子の方が隠れて悪さをよけいにして居るのではなかないと思はれます。だんだ

ん日本人が社交といふ上すべりの方に子供を教育して居ります。日本内地では隣近所といふものがあつて社會の制裁が自然のうちによく行はれて居りますがあちらでは日本人同志のお隣といふ様なことがないから、社會的制裁が忽やかですから斯んな傾向が幼稚園の子供にあつても形こそ變れ、同じ様に起つて來ます。今年の一月にボストンの衛生局から性の教育について熱心なるハット、ヌフィスト博士を招聘して一週間御講演を願ひました。第一日はお母様、第二日はお父様、第三日はハイスクールの女學生、第四日は中學生、第五日は男女學生、第六日は一般の子女について。幼稚園でも性の教育といふことは生れた時から氣をつけて居なければなりません。

も一つ申上げたいのは、アメリカの幼稚園は材料が豊富に用はれるだけ、幼稚園は却つて日本が盛でございます。アメリカから歸つて日本で幼稚

園の保母の養成所をつくらうとシカゴ大學の幼稚園の先生を招聘しました。この先生が二三の幼稚園をお調べになつた結果直ぐ歸國されて、「日本ではこれ以上手をつける必要はない。實に立派です。」と仰いました。アメリカでも勿論よい事はありますが、日本には良い所が澤山ありますので私共は保育方法を研究する事も大切ですが、私共それ／＼の立派な人格を持つことが、より大切で

ございます。

何かアメリカの幼稚園についてまだ／＼、若しも、お尋ねをいたゞきますならば、何時でも参りまして伺もし、お話も申し上げます。聞き苦しい話を長々御清聴をわずらはしまして恐れいりました。

私は今日の御盛況を拜しまして本會の既往を省みていさゝか感想を述べ、感謝の意を表し併せて皆様の激勵を促し度いと思ふ。

私が始めて幼稚園をやつて見ようとしたのが、明治十四年、小西先生がこゝ（東京女子師範附屬幼稚園）の主事の時であります。尤も私は私の能力性質から考へて、私は學理から人を導くことは駄目と考へ、幼稚園の普及擴張の一員として働かうと思つた。當時保育を學ぶ人は、本校の卒業生と傳習所とだけでその他にはない。その頃幼稚園は一の組、二の組、三の組とあり、先生三人、教室三ツに遊戲室。これがなければ幼稚園は出来なものと田舎の方では考へて居た。が十四年にこゝへ來て參觀しまして何うしても幼稚園を始めやうと思つた。その當時一ツ橋に幼児保育場を建てたが、今の托兒所と間違へられたため幼稚園と改名したが、公爵や博士の子弟が來る、髮結ひの子

も来る有様で、却つて言語品性が悪くなると思難が出る、保育料を月五十錢にしてみた、廿二年に、東京で普及するのには多くの力を要するので本校の職員達と育育研究會を作つた。昔は漢學が盛で、平民の子との區別が甚しかつた。この職員方も田舎の保姆や、此處に入らない保姆などの事は意にせず仲間になるなら、してやるといふ風であつた。

大久保主事時代に普及擴張されて來た。前の保育研究會をフレイベル會とした。小西先生が名をつけられた。

今日お世辭ではないが、幼稚園協會の幹事は高ぶつてゐるのか、内容を深くし過ぎて普及の方を考へてないのかと云はれてゐたが、幼稚園も改良され、幼稚園令發布になつて今日甚だしく幼稚令が擴張せられたのは職員幹事が熱心、親切で民衆的な態度で努力せられる結果でこの點に私共は感

謝して居る。

保姆は社會の上から餘り重くみられなかつた。保姆は代用教員、準教員と同じだつた。一身を捧げてこの道に盡された保姆には何等かの條件ある以外には手厚い恩給とか手當がない。これは法律の罪ではなくて社會の罪である。私が皆さんに申しても仕方がない事ではあるが、せめては當局並びに有志父兄に向つて老功なる保姆の退職には法律によらずとも手當をせられるやうにし度い。

今日の保姆の集りは成る程、今日の保姆は違ふ。昨日膳先生御姉妹が一つのコップの水を飲まれた時に拍手せられた。それは餘程深い意味があつた事と思ふ。現代は流行を人に先立つて輕々しく真似たり、言語動作に奥ゆかしさをなくしがちである。昨日の石井氏の御話の様に思想善導といふ事も必要だが、保姆が、母に代つて三ヶ年間の保育は、他日、大學の數年の過程を學んだより以上の

ものを得る場合がある、保姆は、この人間がかたまる時期に接するのであるから反省自重してますます斯道の盛になる様努力せられ度い。御禮かた／＼一言述べたのである。

尙帝國教育會でも保姆の検査を盛んにやり、保姆の改良に力を盡して居る。來年には全國保姆の大會を開催し度いと思つて居る。



總會出席者の一人

五十年前、と一口に云ふ事も、書くこともたやすいが、五十年の事實、それは何といふ驚ろくべきもの、貴重なもの、有難いものであらふ。

更に現代を生み、生命と涙で現代を育てはぐくんだ現代にとつては祖母ではない母の世紀であ

る時、其處に深い親しみと敬愛の念が湧く。その五十年前から今日に至るまで幼児教育、幼稚園教育の爲に精勵努力、身を以て幼児教育に盡されたわが、氏原先生膳先生を、昭和三年のこの幼稚園協會總會にも迎へしたといふ事は何といふ嬉しい事!!

壇上に於ける先生の御辯舌、實に、世間によくある老人ではない、滔々と述べ語らるゝ言葉の一々、ぐんぐんと私の胸にひびき入つた。明治初年にはじめて作曲作歌された唱歌を兩先生は元氣に壇上で合唱された。御説明の一々伺つてほんとうに私共の想像の外である事が解つた。譜があり作曲がありそして樂器も不自由ない現代に比べて、幼兒の爲に計らるゝ當事のその御苦心はどんなであつたらふ!!

拜聽しながら、勿體ない氣がした。私にとつては、兩先生のこの會への御出席は、丁度眞夏の陽

にしほれきつた野の草が夕立に會つたようなものである、幾度か自分の無能にあきれ、無力と意氣地なしに、自分で自分を投げやり、打ち捨てゝ來た。もう若い人達が受け續いてもつと善くして下さるから私は退き下らふ、そんな事も思て見た、も一歩ふみ止つて見れば恥しくて引繼ぎ出來ないほどの荒地の畑を持ちながら。

總會に於ける兩先生のことに御高齡と承る氏原先生の印象は、私にとつて大きなインスピレーションであつた。「五十年間を幼兒の教育に捧げなされたあの先生方の前に出て、否、前に出られるのか、そんなお前の心がけて、そんなお前の小さな努力で、私は自分で自分をどなりつけた。丁度その日の朝であつたか、倉橋先生がお講義の中に「年寄りでもないのに年寄りぶつて」といふ一言を云はれた、それとこれと思ひあはせて私は、右左から背を打たる思ひがした。然し今日壇上の氏原先

生御姉妹に接しなかつたら、私はかういふ強いインスピレーションは受けなかつたであらふ。

「やりますこれから、これからやります、多勢の姉妹で力を併せて、お母様見てゐて下さい、意氣地なしを云つたのは姉がひもない、私が悪うございました」心の中でかう叫ぶと同時に「お母様、ようこそ今日は來て下さつた、今日來て下さらなかつたら私は自分で自分をベチャンコに干物にしてしまつたかもしれない、大切な多勢の幼兒を抱いてゐる自分を、ほんとうによく來て下さつた、よく、」とめどもない感謝の涙で胸がふさがるほど、家へ歸て眠るまで私は幾度かこの感謝をくりかへした。(七月二十七日)

文部省主催幼稚園に關する講習所感

醫 峰 生

昭和三年に於ける文部省主催の夏季講習會中幼稚園事項に關するものは東京奈良兩女高師に於て開催せられました。奈良の模様は視ませんから分りませんが東京の方については御注意までに申し上げます。ということがあります。

文部省が例年中等教育の夏季講習を開催し、併せて幼稚園保育の講習をなしてゐることはよく御承知の筈であります。所が實際に於て七月中旬になつて、東京に講習があるだらう、出かけて見るといふ人が少くないやうで相當の手續がなく、東京に出て來たといふ方が多いやうに思はれます。

主催が文部省で東京女子高等師範學校でも奈良女子高等師範學校でもそれを委託せられてゐるこ

とを第一に知つて居らねばなりません。東京女子高等師範學校附屬幼稚園で講習がありましたも、東京女子高等師範學校附屬幼稚園で主催してゐるのではありません。講師や會場が東京女子高等師範學校の教師であり、校舎であるといふに止まります。従つて文部省は中等學校教員の講習と共に七月上旬が、六月下旬に官報を以て講習題目要項時數、講師、注意等を發表し併せて講習申込手續を告示するのであります。それで文部省の講習を受けんと志される方はよく官報の講習告示を讀んで所定の手續をなさることが肝要であります。本年東京女子高等師範學校で開催せられた講習は遊戯が十二時間もありませんから定員が百名でありました。所が地方應より東京女子高等師範

學校へ公式の手續になつたものだけでも二百五十に達してゐました。それも指定の期限内の申請でなく、講習開催間際になつての電報さへありましたから係の方でも大變に困つたのであります。二百五十に近い數を整理して百六十名許可せられたのでありますから相當手續のものでも多數斷つてあります。それを初日の廿六日朝になつて「私は何縣から參りました。折角來たものですから是非講習員に加へて呉れ」と嘆願せられる方が少くありませんでした。時には大聲上げて泣く方さへ往々にあります。誠にお氣の毒ではありますが、それ位ならば「何故もつと早く手續なさいませんか」と申上げると「それは知りませんでした。」「行けば許して下さるでせうと思つてゐました。」「また「誰さんが行きさへすればどうにかありますと仰いましたから」といふやうな繰言が多いのであります。知らなかつた。といふことに對しては何と

も申様がありません。來年よりよく氣をつけて官報を御覽なさいませと申上げるより外ない。「來年は氣をつけますから今年は是非入れて下さい」と泣かれますがこれも誠に困つたことであります。「聴講だけでも」次には「修了証書」といふ／＼面倒が起りましたがこれは今年に限つたことではありません。しかし今年は一層講習申込者が多くて某府縣の手續等から混雜いたしました。

講習會費をとる講習が多いからその場で申込めばよい位に考へられるも無理ありませんが、どうか文部省主催の講習は聴講料はとらぬこと。所定の期間内に所定の手續をなすべきこと。官報で告示せられること等を十分御承知ありたいと思ひます。實は今年の模様を見て後學のため申上げることで今年の講習員の方に兎や角小言を申す意味では毛頭ありません。

幼児の手技研究会プロ

グラム

八月會九月會十月會は謹んで御大典奉祝用の手技品を研究製作し幼児の心の奥底に奉祝の赤誠を刻み込みたいと思ふのであります。是非御参加下さいませ、地方の幼稚園は是非通信部に御入會下さいませ。

八月會プログラム (八月十日午 後一時ヨリ)

- 一朝顔の貼紙
- 一金魚鉢
- 一笹舟、ボート、モーターボート 寶船
- 一切紙、萬歳踊、圖形、裝飾用
- 一切紙の切り落して出来るタンポポ蝶

九月會プログラム (九月十五日土曜 午後一時ヨリ)

- 一菊の花籠
- 一鳳凰のつなぎ方
- 一菊の葉の寫生手技
- 一日の丸の旗
- 萬歳資料は御茶水幼稚園提灯で頂いて来ました。
- 一奉祝花電車

十月會プログラム (十月六日午 後一時ヨリ)

- 一奉祝旗
- 一奉祝提灯
- 一富士の山の景(三角並) (京橋朝海幼稚園で資料を頂いて来ました)
- 一奉祝胸章(幼児用)
- 一奉祝日傘

△番外特別製作(出席會員に限る)

- 一お人形服
- アメリカから来た友愛のお人形にあたりかいお母様の手で御大典着を新調してあげにやりませんか
- 一用具 鉛筆 クレオン 鋏 糊 針 糸
- お人形服御調製の方はタケ、ユキの寸法と切地を御持參下さいませ

東京市牛込區納戸町六番地(電車牛込北町下り) 東洋幼稚園牛込分園内

幼児の手技研究会

まだ御入會のない幼稚園は至急御申込相成度(ハガキにてよろし)毎月の手技資料を製作して一揃送達す、會費毎月五十錢材料代十錢計六十錢外小包送料内地十二錢滿鮮四十五錢通計内地毎月七十二錢滿鮮一圓五錢を三ヶ月六ヶ月一年にまとめて、但し、會費は御都合のとき小爲換にて御送附のこと。

定規文注

告 稟

- 一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歓迎いたします。
 - 一、寄稿は一行二十六字詰に記して下さい。但改行は一字下げること。また句讀點は一字あけること。
 - 一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新刊書、交換雜誌、入會手續、更に
 - 一、本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。
- 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會**
- 一、本誌購讀御希望の方は日本幼稚園協會に御加入下さい居所、氏名を明記し會費前金にて東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會に御申込下さい。
 - 一、日本幼稚園協會會員外にて本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。(郵券代用の場合には總て一割増)
 - 一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
 - 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
 - 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に『前金切』の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
 - 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

定 價

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料貳錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)

昭和三年九月十日印刷

昭和三年九月十五日發行

幼兒の教育 第二十八卷第八・九號

不 許 複 製
禁 轉 載

編輯兼 發行所 堀 七 藏
東京府豊多摩郡戸塚町大字戸塚五七五

印刷者 小長谷 勝之助
東京市牛込區西五軒町五二番地

印刷所 行政學會印刷所

發 行 所 日 本 幼 稚 園 協 會

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
振替口座東京一七二六六番

告 廣

特等面一頁 金參拾圓	二等面一頁 金貳拾圓
一等面一頁 金貳拾五圓	一頁以下御斷

神田區南甲賀町八品田與松に御申込下さい

